京城日報

每號一部金五錢 ▲壹ケ月郵税共前金壹圓拾五錢 ▲三ケ月同三圓參拾錢 ▲六ケ月同六圓五十錢 ▲郵券代用一割增

五號十四字詰一行一圓十六錢 五號同特別二圓廿錢 ▲二號七字詰同二圓二十錢 ▲四號九字詰同一圓七十錢 六號十六字詰金一圓十一錢

編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 長六千九百番 長五千九百番二 振替京城三〇〇番

歐洲復興運動

國際協調案

英國側の主張

歐洲經濟界恢復國際協調に關し一月十五日英國政治界、實業界の有力者より首相宛て建白書提出せらる其要領左の如し、主要關係國たる英、米、佛、伊、日、白、瑞典、瑞西、和蘭、丁抹、歐洲中立諸國、英國植民地、佛國植民地、南米主要輸出國に對して即時財政代表者の派遣を乞ひ其の會議に於て次記の地位を調査し援助を與ふべき國及び條件に付き提議せんことを希望す右提議に關し署名者の陳述せんとする處左の如し

勝敗兩者窮境（一） 今や戰勝國も敗戰國も共に國債の增加、通貨の膨脹、物價の騰貴に苦しみつゝあり消費節約、生產增加及び課稅の最有効なる對應策を即時實行せざれば貨幣の低落引續き過去の貯蓄を破壞し漸次歐洲は破產及び無政府狀態に陷る

難局自覺の要（二） 經費支拂の爲め通貨を增加し又は利付公債を增加し而かも之に對應すべき資在財產を增加することなき政策を持續するに於ては何國も其社會的經濟的將來を期待し得べからず實際各國は充分精査の上各自の狀態及要求に應じて處理せざるべからず然れども租稅其他經常歲入の範圍內に經費を減縮せず又能はざる國は信用を受くるに價せず又支拂能力ある債務國と目せられざるべし此原則を各國々民に諒知せしめざれば難況を自覺せしむることを得ず

獨墺も救濟せよ（三） 獨逸の負擔は他の戰勝國よりも多大なるべきも此の負擔は實行し得べき課稅制限度を超ね又は有敗なる課稅の基礎たる生產力を破壞すべからず、債權國の爲、又世界の爲めよりするも獨墺を破產せしむべからず假令ば賠償委員會精査の結果財產所得營業及び消費に對し最高の課稅を行ふも債權國に即時提供し得べき金額が既定債務額に達せざる場合には賠償年賦金額を資力維持可能の範圍內に限定すべし（之）これが爲め年限延長の必要もあらん、即ち償務支拂ひの決心を韓じて自暴自棄に陷らしむることなきを要す

愼重なる戰後策（四） 戰勝國中にも經濟狀態極めて憂ふべく課稅力將に限界點に達せんとするものあり此等の國に付ても課稅を忍耐力の限度に止め財政的困難經濟的不安の因となるべき程度に至らしめざるの見地より考究せざるべからず

資金融通の要（五） 歐洲諸國の支出が一度擔稅能力の限度內に止り又國家間の債務負擔が忍耐力を越ゆざるに於ては必要貨物を輸入し生產力を恢復し貨幣を整理するに必要なる運轉資本の供給如何の問題を生ず（六）右必要なる運轉資本は主として且つ即時必要とするものにして通常銀行業者の融通に待つこと不可能なれば更に廣汎なる計畫を必要とす之れ全歐洲全世界の利益に係る處なり

資金融通の條件（七） 國際協調の具體的方法を提議するものにはあらざるも大體方針としては（イ）資金の大部分は貿易及び爲替の有利なる國より供給するを要す（ロ）長期外國信用は生產回復に絕對に必要なる範圍內に限るべし（ハ）貸手國自身の國內目的に要する資金亦巨額なるべきに依り信用供給額は必要なる最少限度に止むべし（ニ）援助は成るべく國內及び國際の取引に關し政府の監理を受けざる方法に依るべし（ホ）如何なる計畫も信用の供與及び通常經路の通商發達を成るべく獎勵するものたるべし（ヘ）貸手國にて公債公募の場合には個人の眞の貯蓄を吸收するに足る條件を以てすべし然らざれば通貨の膨脹を來すべし（ト）借手國は良好の擔保を提供すべし之が爲には左の點に付き同意を要す即ち第一には該公債は內債なると賠償債務たると聯合國間の債務たるとを問はず此等一切の債務に優先することにして第二には借手國は元利支拂擔保として特別擔保を提供し其性質は國に依りて異なるも獨逸に對する賠償債權は賠償受領金に付第一順位の擔保を設定することとなり

歐洲の最大危機（八） 現在の形勢闇黑を極め作業及び貯蓄の意欲各人の最高努力の獎勵及び此努力の効果に對する正當なる分け前享有の機會を再興するを以て世界協調の目的とすべし（九）以上の問題は今や急迫を極む若し遷延せば問題を大ならしめ其解決益々困難なるべしや歐洲の眞の危機到來し一日も躊躇すべからざることを確信す

有力なる運動 署名者の地位聲望は本運動の價値を示すに足るべし殊に倫敦市中五大銀行首腦を網羅し又勞働黨首領をも加へたるとに注目すべし

神仙境

劍花坊

東西卅三ケ所（一）

西國三十三箇所と云ふ言葉は、巡禮唄によつて誰も知るところだが、それがどの國からどの國へ亘り、何といふ寺といふことは知らない者もある。第一番から順次に記すと、和歌山縣紀伊國の那智山、紀三井寺、粉河寺と打つて四番は大阪府和泉國の槇尾寺、河內國の葛井寺、六番は奈良縣大和國へ入り、壺坂寺、岡寺、長谷寺、南圓堂、これは奈良だ、それから京都府山城國へ入り三室戸寺、醍醐寺と打ち、十一番は滋賀縣近江國で岩間寺、石山寺、三井寺、十五番で順路京都府に歸り、山城國今熊野、これからは京都市で清水寺、六波羅密寺、六角堂、革堂、善峯寺から丹波國へ入り穴太寺、次ぎが兵庫縣で攝津國總持寺、勝尾寺、中山寺、播磨國清水寺、法華山、書寫山、京都府丹後國へ戻つて天の橋立の成相寺、福井縣若狹國の松尾寺、滋賀縣近江國の竹生島、長命寺、觀音寺、それから美濃國の谷汲が三十三番の札の打止めである

妻

布施生譯

（六）

『困つた事つてどんな事、ねえ言つて聞かせて下さいましな』。九郎は頭を振つて『いやイヤ言へない、實ば其爲僕は一生日蔭者にならなければならないんです、全體僕としては此際何處へか身を隱して今後貴女の傍へは一切來ない事にするのが一番だらうとは思ふが、しかしそりや到底出來ない、貴女に別れるのだ、ね、貴女のお父樣は僕の保護者であつた、僕は貴女とよく釣合つてゐる、成る程僕には金がない、しかし其の代り僕には貴女に捧げる愛と眞心とを持つてゐる、僕は貴女を崇拜してゐる……』。九郎は雅子の手を取つて其身體を掻き擁いた、そして野に觸れやうとしたが雅子は突き退けて『いゝえまあ考へて下さいまし』。男は背かせをつぎ『今更考へるも何もありませんか、今晩貴方は是非とも出奔するんだ、其爲に貴女は態々貴女の兄樣について來たんだ、もう準備は一切出來上つてゐるんですぞ』ね、そう此處に手管書がある、『貴女は宅へ歸つたら先づちづくりとそれを讀むんだ、そうして書いてある通りにするんだ、いゝかね、今晩のお祭りこそ又とない機會なんだから、貴女は何食はぬ顏で一旦氷滑りの連中に混じるんだ、そして折を見て脫け出すんだ、ねえ、そうすりや人目につく氣遣ひはない、明日の今頃には貴女はもう遠い處へ往つてゐる、そして僕の保護の下に安全な身になるんだ』言ひ聞かせてゐるうちに遠くの方で人聲が聞え出した、男はそれに氣がつくと言葉忙しく『さあ早く貴女は一人でお出でなさい、二人一處に看附かつちや拙い、此手紙を持つてさあ早く、僕は煙草一服して良い時分に歸るから』急かし立て、も雅子は愚圖々々と『でも何だか變でございますわね、だつて私、あの方のお蔭で、私、あの財產が出來ましたのでございますわ、手續が濟んだのはほんの昨日の事でございますもの……』言ひかけるのを男は敵しく遮つて『何だ、こんな貰ひ金位叩き返しさへすりや濟む事だ』。慳貪に言放つたが男の辟には流石に夫らしい自尊心が閃いてゐた、雅子は始めて賴もしそうに男の顏を看上げながら『貴君それぢや吃度返せるやうにして下すつて、それなら可うございますわ、それならもう……』言ひさまくるいと步を回した、男は後を見送つて雅子の姿が月蔭に隱れるのを見成つてゐたが軈て冷やかに笑ひを浮かべて『へん、昨日手續きが濟んだばかりだつて、それでこそお誂へ向きと言ふもんだ、可笑これから一つ捻をかけて……』

懸賞川柳

劍花坊選

〜朝

○ 京城 弓八郎
意業こそ朝酒を飲んでゐる
三次會帽子がちがふ翌る朝
又高い米食ふ朝となりに兆

○ 京城 東浦
朝歸女房を叱る糞度胸
變裝の車夫に捉まる朝歸
成行に任せ朝酒飲んでゐる

○ 京城 輝華
獨身の寢床も朝を切ながり
步るきつゝ夢を見てゐる朝の町
朝の庭女房の植ゑたダリヤを見

朝鮮彙報

▲大正九年一月號 定價廿八錢郵稅二錢五厘
▲廣告料…一頁金七十圓 ▲販賣…鮮內各地書店

◯口繪 ▲田家の早春（三色版）▲慶尚北道大邱の花橋▲…
◯大正九年を迎ふ
◯朝鮮統治の方針 齋藤總督
◯大正八年に於ける朝鮮
◯靑島に於ける蠶業 中央試驗所技師 宇野三郎
◯正しき要旨 女子高等普通學校規則改正 學務局長 柴田善三郎
◯廟殿宮祠及壇 鐵道部 和田一郎
調査及研究 ◯龍岡古碑の年代考証 ◯朝鮮に於ける宗教 ◯野生鳥類の農業に及す效果 ◯常食穀物の需給狀況…
地方 ◯慶尙北道に於ける産業 ◯慶尙北道…
雜錄 ◯遞信事業概況（大正八年十月分）◯鐵道狀況（大正八年十一月分）◯道水產主任技術官會同 ◯判任官見習講習會 ◯成績良好…
統計 ◯十一月朝鮮貿易 ◯十一月中鐵道 ◯事件數 ◯經濟狀況 …

株式賣買講義錄

安全の利殖。株式成功の手引

講了期間一年、講師は斯道の實驗家、講義平易懇切、質問自在。會則見本無代進呈（二錢切手封入申込）

（會費半ケ年六十錢一ケ年十二月前納）

發行所 東京日本橋蠣殼町 東京經濟… 電話浪花四七五 振替四三三七

演藝講談界

二月號

▲花の太刀風 ▲植半の心中 ▲戀の女盜傳 ▲玉笹と雛次 ▲空の征服

幕末情史 金扇記　奇譚小說 地獄門 野風劍

大評判の聲色指南と演藝…　□演藝初心者手引 □役者の顏 □漫畫の特殊 □笑話石町の巨頭 □マラソン名人 □女優の志願者 □大阪のくるわ □大阪初春劇界 □如月梅病葉 □公歌劇見物

□何も來い □深々芝居記 □師匠の廿四時 □活惚丹陪子 □大評判記 □東京市内座 □一月芝居見たまく □浮世松竹長庭 □此外面白記 □三題物 …

千賞懸別 大懸賞と寶探

裏表 女大平記　佳人時雨の戀歌　奇々怪々 幽靈二代目　名優中村 歌右衛門

歷史小說 山谷堀 前田曙山　新小說 かけ皿 渡邊霞亭

定價六十錢 四十五錢 … 東京牛込 …

中學世界

二月號

◯口繪 紅椿 山田隆蔵
夫婦が生んだ悲劇
嫁入仕度の改良
様々なるお產の經驗
◯婦人は現實に眼を覺せ
歷史小說 親不知 中野雪人
長篇小說 孔雀 上司小劍
◯父子二代で肺病全治 大里
◯小說 瀧口入道
◯名著 哀話故鄉
◯懸賞記事 人情美の印象

◯學生の家族關係
◯馬鹿になる修養
◯軍用鳩の話 菱田少將
◯幾度か自殺を企てた!!
◯鈴木文治氏（大正立志傳其十四）
◯間違ひはお互様（英文）佐川春水
◯飯山のスキー
◯國際的野球團を作れ！
◯智慧の水を絞れ
◯日向艦上の帝大生
ストライキの巨魁
◯始めて先生となるの記
鐘崎の大沈鐘
◯中學時代の追憶
◯內外時事問題の解說
小說 教師と秀才
◯學生小說 青春の讚歌
衛生相談所
青年 立志案內（其二）
辯護士となるには

定價廿錢 東京市本石町 博文館

家庭雜誌

二月號

支那語講義錄

完結 十二冊前金八圓 …

東京麴町五紀尾井町 文求堂隣 書院

篆刻界の權威 木皆印

天皇堂本店 …

南州製糖株式會社株式募集

本事業の特徵

一、本會社起業地たる種子島、屋久島は古來の糖產地にして地味最甘蔗作に適し他の作物の爲に其衰頽を來すことなし

二、本會社の設立は元起業地官民の熱望に出で各村進んで土地の提供及地上權の設定又は本會社の爲に甘蔗の義務栽培を承認さる

三、廣大なる蔗園を所有し小作を爲さしむるを以て原料供給上支障を來す虞毫もなし

權威ある調査 本事業は農商務省にあること十數年專ら斯業の研究指導の任に當り屢各地產糖地の視察調査を爲し斯界に造詣最深き仙波吉江氏の確信ある調査資料に基きたる事業にして基礎確實なるものなり

特典及保護 （一）自作蔗園の開墾には開墾助成法に依り政府より年六分の補助あり（二）蔗苗の無償配給其他に付鹿兒島縣廳より特別の利便を附與せらる（三）開墾機に對しては農商務省より相當補助あり（四）輕便鐵道敷設に要する土地は無償を以て地元より提供せらる

有望なる副業 （一）屋久島に於ける製材事業（二）種子島、屋久島近海に於ける漁業（三）節米に關聯せる甘藷燒酎釀造

公募の理由 本事業は元來國家的事業にして各種の補助を附與せらるゝを以て單に發起人贊成人にて之が利益を私すべきものに非ず株式會社設立の本旨に從ひ特に株式の一部を割き一般の募集に附す

募集要項

一 資本金總額 七百萬圓
一 壹株の金額 五拾圓
一 募集株數 壹萬五千株
一 申込株數單位 拾株以上
一 申込證據金 壹株に付金貳圓五拾錢
一 第壹回拂込金額 壹株に付金拾貳圓五拾錢（證據金併算）
一 申込期間 大正九年一月廿二日より同二十一日迄（北海道、朝鮮、臺灣、樺太は〆切より七日間延長す）
一 募入決定方法 應募株數超過の場合は發起人に於て適宜決定す

發起人總代 仙波吉江 小幡貞吉 兒玉好熊

相談役 堀宗一

顧問 農學博士 吉村清尚

發起人 [illegible]

贊成人 [illegible]

株式申込取扱所 [illegible]

東京株式取扱店 大日本證券信託株式會社 日本證券株式會社 米山商會

定款目論見書株式申込書印鑑票等ハ創立事務所及左記取扱銀行又ハ各支店ニ御申込次第郵送ス

東京市京橋區日吉町十五番地（電話銀座二〇七四番・一一一二五番）

南州製糖株式會社創立事務所

振替口座東京四九四四〇番

山東紛糾原因
故馮國璋氏の狂言

二十四日支那より神戸に歸着せる東亞同文書院々長根津一氏は語つて曰く小幡公使は山東問題に就き二十二日北京政府に對し交渉を開始すべく其通告を發したるが支那は此の通告を最も滿足を以て受けたるもの、如し而ほ山東問題が今日の如く紛糾せる原因は過般逝去せる馮國璋氏が政治的に失墜せる自己の名譽を恢復せんが爲めの手段として四千萬圓の私貲と米國より供給されし巨額の財源を利用し日支間の國交を阻害し以て自己の勢力を占めんと目論見居たること明かなり然るに馮氏は既に死亡し一方講和會議より歸れる陸徴祥氏は穩健なる上に時勢を知り巴里滯在中聯合國の勢力消長に就ても十分承知し居るを以て此の上日支間の國交を阻害するは國民に取りて最も不幸なる位は知り居れる筈なり云々(戸神電報)

米撤兵覺書發表

米國政府が日本政府に通牒したる西伯利撤兵態度決定に關する覺書全文發表せられたるが右は既報の如く我が撤兵照會に就ては言及せず唯西伯利出兵當初の目的と最近形勢の變化より撤兵せざるべからざる所以を述べたるに過ぎず(東京特電)

最高會議解散
駐佛大使會議を以て之に代ふ

對獨講和會議終了後引續き存置されし日英佛米伊五大國代表者より成る巴里最高會議は廿一日の會合を以て解散に決定し今後は駐佛大使會議を以て之に代ふるに決定せる旨松井駐佛大使より外務省に公報ありたり(東京特電)

聯盟執行委員會

國際聯盟第一回執行委員會は十六日開會ブルジョア氏議長に選ばれ同氏及び英外相カルゾン卿演說せり(巴里電報)

印度戰鬪激し
英軍死傷二百八十名

印度に於ける戰鬪は猛烈を極め英軍は二百八十名の死傷者を出したりマシュッド國の中央に進撃せるベラチャー中隊はアナイダンヂ北方に於いて頑強なる抵抗を受け本營附近に激戰行はれ英軍士官は八名即死六名負傷し一名は行方不明となれり又印度人士官六名即死六名負傷せり一方河岸に於ては印度人三十五名即死し二百七十八名の負傷者を生じ四十名は行方不明となれり尚飛行機一臺射落されたるも飛行家は無事なりマシュッド族の損失は少なくとも即死百三十名負傷三百七十名を下らざるべし(倫敦電報)

英政界動搖不熄

英國政界の動搖未だ收まらず聯立黨の將來に就き議論沸騰しつゝあり尚アスキス氏は多分今次蘇格蘭補缺選擧に候補者として打つて出づ可きがタイムス紙を始め專ら氏が議會に復活せん事を希望し居れり(倫敦電報)

兩政府承認通告

英政府はチウリスに於ける駐在官に向けジョルジア及びアゼルバイジャン兩政府に對し聯合國が彼等を承認したる旨を通告すべき機訓令するところありたり(倫敦電報)

アドリヤチツク問題審議
最高會議伊國首相に贊成

最高會議二十一日夕刻開會しアドリヤチツク問題を審議せり同會議はユーゴー、スラヴ代表者と會議の後伊國首相ニツチ氏の見解に一致贊成しユーゴースラヴに對し無保留にて妥協案を承諾すべく勸告を與へたるが若し同政府にして之を拒絶したる場合は協商國は一千九百十五年四月十六日の倫敦條約を執行すべし(巴里電報)

山東對支提議
趣旨

[illegible]府と交渉を開始し誠實迅速に本件の解決を圖り度きに就き支那政府に於ても必要なる準備を遂げられん事を希望す[illegible]

支那政府に於て巡警隊の組織を完了し[illegible]

[illegible]を確保するの途無く獨り日本のみならず合辨經營者として其の利害を共にする支那も齊しく不利益なる影響を蒙る可きに就き[illegible]するに於ては日支協調成立前と雖も直ちに我が軍隊を撤退すべき所存なるに付き支那政府に於ても之を諒し巡警隊の組織は至急完了せん事を希望す

伯林秩序維持
戒嚴令施行認容

伯林の秩序は依然保たれ居れるが工業地域に於ける形勢も改善されたり多數社會黨役員會は市民の自由を保持し公安の維持を保つ爲め戒嚴令施行を認容せり尚前日來騷擾の結果半官的に報道せらるゝ所に依れば死者四十八人負傷者百五十人に上れり(伯林電報)

前獨帝引渡拒絶

和蘭政府は前獨帝の引渡を拒絶したり(伯林電報)

敵國人輸出入品禁止

シドニー來電に曰く敵國人の輸出入品共關稅大臣の承認を得たるもの以外公式に禁止されたり蓋し條約は批准されたるも當分濠洲政府は是等諸國との通商を禁止せんとする意嚮なり(倫敦電報)

布哇勞働罷業

布哇耕主組合が勞働者の要求を容れざる爲め比律賓勞働者三千名先づ罷業し日本人も將に罷業せんとしつゝあり形勢極めて不穩となれり(ホノルヽ電報)

英首相陸海兩相招致

英國首相は陸海軍大臣を至急巴里に招致せるが這は露國過激派軍の連戰連捷に不安を來せるが爲め由(倫敦電報)

社會革命黨政權引渡

イルクック社會革命黨は二十一日政權を過激派に引渡したり(哈爾賓電報)

獨勞農締約無根

獨逸は露國勞農政府と條約を締結したりと傳へらるも事實無根なり蓋し獨逸は聯合國との條約に不忠實なるが如き懸念を懷かしめんが爲め何者かの流布したる風說に過ぎず(伯林電報)

チ軍輸送迅速

後貝加爾州に於けるチエック軍の歸還輸送は過般我軍の調停に依りセミヨノフ軍との葛藤和解せし以來靜穩且つ迅速に實施されつゝあり目下後貝加爾以東にて輸送中のチエック軍は步兵二個聯隊半、砲兵約一聯隊にて既に浦鹽に到著し乘船を待ち居れるもの約五千あり(某所著=東京特電)

イ市派遣隊出發

陸軍省公表=イルクツク派遣隊及び同地特務機關等は一月十九日朝出發撤退せし筈(東京特電)

支那新聞の囈語
山東問題に就て

支那中外新報は內田外相の帝國議會に於ける演說に對し左の評論を試みたり(國際通信=上海電報)

內田外相は其國會に於ける演說に於て辯を恣にせしも惜むらくは多く其說を全うすると能はず外相は中日條約に依り膠州灣は中國に還附すと言へり膠州灣は元より中國の地なり獨逸に奪はれしも自ら還附さる可きものにして日本は既に之を知る即ち公明磊落聯盟席上の公判に聽く可きものなり而も日本は之を私して我が物と爲し後中國に還附せんとす彼親善を以て口實と爲す何をか以て人の惡感を得たるや宜しく反省す可きなり云々

東宮九州行啓

東宮殿下には豫てより九州地方御見學の御希望あり愈々今夏御實行のことに御內定ありたるが以て宮內省より下檢分の爲め近く吏員を同地方に出張せしむべく尚ほ殿下には軍艦に召さるゝを以て吳軍港にても夫々準備中なりと(東京電報)

郡制廢止案提出

政府は今期議會に郡制廢止案を提出するに決したることは既報の如くなるが同案の提出期は衆議院の豫算案一段落を告げたる後即ち二月中旬頃なるべし而して其の成立の曉は施行期日の制定、郡有財産營造物及び規定の權利並に義務の處分を行ふの必要あり施行期日は勅令を以て制定することは勿論なるが郡有財産の處分其の他に就ても府縣參事會の意見を徵し內務大臣に於て適當の處分を爲さしむるの必要あり之れ亦勅令を以て規定すべく目下內務省に於いて右勅令案に就き調查の步を進めつゝあり(東京電報)

衆議院へ謝電
艦隊鎭守府要港部より

衆議院にて決議せし感謝狀に對し廿四日大岡議長宛第一艦隊、佐世保鎭守府、舞鶴鎭守府、大湊要港部、旅順要港部等の各司令官より謝電到達せり(東京特電)

政友最高幹部會
●外交問題調查特別委員會設置建議案對應策

政友會にては二十四日議會散會後院內に於て最高幹部會を開き原總裁を始め各總務、望月幹事長等出席黨員結束の必要に就き協議する所あり尚廿四日無所屬の長島隆二氏に依りて提出せられたる外交問題調查特別委員會設置に關する建議案は一見頗る平凡なるが如きも其の實政府政友會に取りては大いに警戒を要する危險性を帶び居り該案には國民黨の犬養總理西村丹治郎氏外二十五名新政會木下謙次郎氏外二十一名正交俱樂部の若尾璋八氏外二十名無所屬の湯淺凡平氏外五名の贊成人として署名せるあり尤も憲政會は表面加入し居らざるも勿論之れに贊成すべきものと見做さざるべからず斯の如き形勢なるを以て一度作戰を誤らば該案は遂に衆議院を通過し政府及び政友會に取て由々敷大事を惹起すべく之が對應策を討議せんが爲め廿五日午後一時本部に緊急代議士會を開くに決し散會せり(東京電報)

東京預金協定

東京預金協定幹事銀行は廿四日會合し大阪側の決定率に基き凝議の結果定期甲六分五厘乙六分八厘其の他大體大阪並に決定せるが廿六日協定銀行總會を開き附議することゝなれり(東京特電)

德川侯瑞西行

二月二十九日瑞西に開會の赤十字社會議に列すべき日本赤十字社副社長德川圀順侯は顧問西川博士其の他隨員を從へ二十四日午前八時三十分東京驛發西下せるが二十六日午前十時神戸解纜の阿波丸にて渡歐の途に就くべしと(東京電報)

總督著京

齋藤總督は夫人秘書官を伴ひ廿五日午時五十分東京驛に著せり之より先林關東廳長官は國府津驛より總督と同車し橫田法務局長又同驛に出迎ひ東京驛には中西滿鐵副社長、同龍居理事、[illegible]鮮銀總裁、大塚、河內山兩局長其の他朝鮮關係者二百餘名の出迎ひあり總督は直ちに自動車にて四谷仲町の自邸に入れり(東京特電)

陸徵祥氏北上

陸徵祥氏は二十二日上海に著したるが二十三日南京著更に津浦鐵道にて北上せり(上海電報)

昨年朝鮮貿易(五)
鮮牛皮歡迎=葉煙草需要激增

銅塊及錠 輸移出額三百七十三萬餘斤百八十七萬餘圓にして前年に比すれば百七十七萬餘斤二百一萬餘圓の減少を來せり銅價の下落勞銀の昂騰は自然咸山に於る本品製煉事業の手控へを餘儀なくせしめたる結果なり

牛皮 輸移出額四百四十五萬餘斤三百二十五萬餘圓にして前年に比し二百二十六萬餘斤百九十八萬餘圓を增進せり一時銷沈せし內地皮革界も客秋西伯利出兵以來漸次活況を呈し來り加ふるに一般好景氣に伴ない革物の需要增加せるに當り歐米方面に於ても平和來と共に戰時需要より平時需要に轉換の勢ひを示し支那皮は多く之に向へるが如く一面銀價關係よりするも支那皮途に割高となれるを以て內地市場にては專ら鮮皮を歡迎するに至り如上出荷を告げたり

海藻 石花菜海蘿銀杏草の輸出額計五百六萬餘斤百六十五萬餘圓にして前年に比し五十一萬餘斤六十六萬餘圓を增加せり內地機業界並に建築界の好況に伴なひ需要旺盛を極め活氣を帶び勢ひ南鮮方面の採取高增進せるに依る者にして唯銀杏草は繁殖十分ならざりしと鮮內の需要增加とにより多少の出荷減退を見たり

葉煙草 輸移出額二百六十九萬餘斤百卅九萬餘圓にして前年に比し四十九萬餘斤六十六萬餘圓を增進せり主として支那方面に於ける製煙原料の不足に基づき出荷を促せしによるものにして數年來開拓せる米國其の他諸外國の需要も引續き相當好況を呈したり

紙卷煙草 輸移出額七億七百三十一萬餘本二百三十七萬餘圓にして前年に比し數量一億九百四十四萬餘本の減退價額四十三萬餘圓の增進を示せり西伯利方面の需要增大せると鮮內の賣行も頗る活況を呈したるを以て一層々供給不足を來し出荷を阻害られたるの狀況なり

木材及板 輸移出額七十五萬餘圓にして前年に比し三十四萬餘圓を增進せり[illegible]撫順其他鑛山に於ける建築向木材及杭木の需要增加之が原因をなせり

パルプ 輸移出額三百七十九萬餘斤百五萬餘圓にして前年に比し二百二十六萬餘斤七十七萬餘圓を激增せり乘て計畫中なりし新義州製紙工場完成を告げ今秋操業を開始せしが日尚ほ淺きに拘らず年末迄に數十萬圓を移出するに至りしこと之が主因にして從來南鮮方面にて産出せるものは專ら蘆草を原料とし其滿洲の分は豐富なる鴨綠江材を用ふ

關稅撤廢建議
京城商議電請

京城商業會議所にては廿四日開催せる役員會の決議により關稅撤廢に關し內閣總理大臣並拓殖局長官河內山樂三氏に宛て左の請願をなせり

朝鮮の財政上大正九年度より母子國間の關稅撤廢を實現するに至らざるは全く一般の豫期に反し殊に此撤廢時期を目標として計畫に入れて工場を創設し今日迄忍耐し來れる朝鮮工業者に於ては最も遺憾とする所なり朝鮮工業製品の內地移出は朝鮮工業者の必要とする所なるのみならず缺乏せる物品を補給する意味に於て內地の需要者も大に希望する所且陸海軍に於ても軍需品調辨の便宜上多年之が希望を寄せられたる所なるに拘はらず母子國間關稅撤廢案を斷行せられざるは甚だ其意を得ざる事實なりとす固より大正十年度に於ては必ず撤廢せらるべきを信じて疑はずと雖も朝鮮移出品の內地移入稅は其金額に於て多からず之を撤廢するも關稅收入に差したる影響なしと信ずるを以て朝鮮工業の確持を助け內鮮貿易を進め內鮮工場の連絡合同の機運を促がす爲め此際斷然朝鮮より移出する內地移入關稅を撤廢し併せて內地より朝鮮に移入する工業原料の朝鮮移入關稅を免除せられむ事を全鮮商議所の熱望を以つて開陳す

大正八年の朝鮮
普通警察制施行
=憲兵制度廢止に對する

朝鮮に於る憲兵警察制度は明治四十三年六月韓國警察を日本政府に委任せる時に初まり爾來十年間其の職務を執行し來りしが

時代の變遷 は遂に憲兵警察制度を廢して普通警察制度に復するに至り大正八年八月二十日官制を改正して總督府に警務局を新設し各道に第三部を設置し警察權をして全く道知事の掌中に委するに至りしは世既に知る處なり而して新に警部補の官職を設け巡查補の一階級を廢して巡查となし以て執務上の圓滑を計りたり制度の改正に伴なふ警察官の增員に對する補充は朝鮮現時の狀態に於て急速を要するを以て內地の現職巡查より約一千五百名憲兵上等兵より一千四百名を採用配置し尚內地各府縣に於て三千三百餘名を新募採用し之を

各道に配置 し教習を爲し而して憲兵側よりの事務の引繼ぎは九月二十五日より十一月四日迄に完了し茲に全く改正制度による設備を完了し事務を開始したり昨年中保安警察の一般狀況は交通機關の發達に伴ひ往時に於けるが如き集團的暴徒の橫行は殆ど之を認めざるに至りしも騷擾局の影響は朝鮮人の思想上に多大の變化を與へ動もすれば獨立を夢想して無謀の騷擾を惹起し法網に觸るゝ者少からず之が取締に付いては嚴密なる注意を以て活動しつゝあり

衞生の方面 は醫師其他衞生の設施普及汚物掃除、上水、下水の改善藥品及び飮食物の取締傳染病及獸疫の豫防其他一般衞生施設は民度の向上に伴ひ漸次改良の步を進めつゝありし昨年は一月以來支那より流行性腦脊髓膜炎侵入して各地に蔓延し夥多の患死者を出し尚ほ八月以來滿洲地方に猖獗を極めたるコレラは終に朝鮮に侵入し近年稀有の流行を來し其他痘瘡及發疹チブス等の傳染病も亦甚だ少からざりしは遺憾とする處なり之に加へて三月以來各地に勃發したる騷擾事件鎭撫の爲め警察官憲に於て

事務に主力 を用ふること能はざりしも又大なる原因なり其他墓地火葬場取締規則は鮮人の風習に合ざるものありしを以て昨年九月總督府令を以て改正され屠場に關する規則も舊韓國法律、領事館令、統監府令及び警務部令等多岐に亘り內容齊一を缺けるを以て同十一月改正されたり(警務當局者談)

興鐵重役顔觸

二月二日創立總會を行ふべき朝鮮興業鐵道の重役は[illegible]事情の下に結局當分社長は缺員の儘とする事となり常務取締役に津田鍛雄原勝一の兩氏就任する事に內定せる模樣なり唯津田氏は尚ほ常務を辭すべき意向を有せるやにて平取締役に略定まれる神田長平氏を常務に廻す事となるやも計り難く何れにせよ常務は二名にして上記三氏中より出づべしと又吉田東拓支店支配人は多分諸種の事情上姑く現地位を去らざるべく松平直平子は監查役たるべし

株式現物市場の設置(一)
西村殖產局長談

久しく總督府に於て研究中なりし京城株式現物取引市場は愈々二十六日許可せられたるが現物市場問題は內鮮人間に種々錯綜せる事情あり此の間に世人の誤解なからしむる爲め西村殖產局長は設置の經過に就き次の如く語れり

現株の取引を目的とする會社の設立は今回愈々釘本藤次郎富田儀作外十五名の出願に對し許可せらるゝことになつた。本件に付ては從來色々の行懸りもあることであるから此の際本府詮議の經過及び當局の所信を闡明し同時に一般の誤解がない樣にしたいと思ふ。聞く所によると、釘本氏等の出願に係る現株市場の設置は一昨年十一月頃から種々計畫せられて居たものであると云ふことであるが、愈々正式に願書を提出せられたのは昨大正八年五月のことである。自分の朝鮮總督府に赴任したのは同年九月一日であつて、自分の本件に關係したのは其れ以來のことである。自分は赴任當時各種の方面より取引所の設置に關する

希望と陳情 なども聞き、又現在出願中の現株市場の設置を目的とする會社の設立願に關して釘本氏等より度々陳情を承つたのであるが、自分の調查した所によると朝鮮に於ける米穀又は株式の定期取引を目的とする取引所の設置に付ては從來より共通法たる取引所法が制定する迄は之を許可しないと云ふ方針であつて、從來の出願は總て此の方針に依つて悉く却下になつて居るのである。[illegible]の取引所とは其の趣を異にし其の設けに付ては現に朝鮮內[illegible]敏活を期する[illegible]現物市場は出願通り詮議せらるゝ方針である。然るに株式に付ては近年朝鮮に於ける各種の企業勃興し、會社の新設又は增資せらるゝもの、數少なからざるに拘はらず、其の賣買取引は概ね個人營業たる多數の問屋に依つて行はるゝに止まり、二三有力なる會社株を除くの外は、兎角取引の敏活を缺き、或は擔保として金融を圖らむとする上にも支障があつて延て

會社事業に 對する投資を妨げ、企業の勃興を阻止することゝなるのである。若し此の際現物市場の如きものが出來て、問屋の個々の取引よりも比較的確實なる價格が世間から認めらるゝやうになつたならば、企業の融通性を增加し、大に株式の融通を容易ならしむる一助ともなるであらうと思はれるのである。釘本氏等の出願は畢竟現在個々別々に行はれて居る多數の問屋を一商所に纏めて其の取引を共同に實行することを目的とするものであつて、取引其のものは別段創始的のものでもなく且現物市場は株式に付ては現に許可せられつゝある事柄であつて、穀物に付ても新規の事柄でもないからして、從來の取引所に付て度々聲言せられて居る通り、取引所法の制定ある迄は許可をしない方針であるけれども、現株市場は他の先例に倣ひ、之を許可するの方針を以て著々內外諸般の調査を進めつゝあつたのであるが、然るに右釘本氏等の出願が公けに提出せられたる後約半年を經たる後に至りて突然李允用、閔泳綺兩氏其の他百三十餘名の內鮮人より株式會社京城取引所の出願あり、尋て日を經て更に李允用、閔泳綺氏外百六十名より現物市場の出願があつたのである。該出願の動機及經路等は自分の敢て知る所でないが、兎も角出願があつた以上は處分上努めて公平を期するの精神を以て、愼重に之を調査したのである。李允用氏等の取引所の設立願は前に述べたる方針に依り、他の同種の出願と同じく、一樣に之を却下すべきことは固より言を俟たぬ所であるが、現物市場に關する出願は、釘本氏等の出願と性質上同一の出願であるから、試に其の

內容を比較 して見るに(一)釘本氏等の計畫は受渡期間十五日以內の株式の延取引を行はんとするものであり(二)李氏等の計畫は米穀、有價證券、綿布の賣買及各種現物の延取引を經營せむとするものであつて、必しも同一目的の出願ではない、其の競願になつて居る點は單に株式に付てのみのことである、依て之を審查するに、後者出願の米穀に付ては、現に京城に於ける內鮮人營業者の組織せる組合の下に、取引市場は實行されて居るので、新に之を詮議するの必要を認めない、又綿布に付ては近來價格の變動甚しく、殊に騰貴に騰貴を重ぬる趨勢であつて、當業者間の賣買取引も頗る危險であるけれども、今日の現象が何時迄持續せらるべきかも實は甚だ疑問であつて、目下の狀態のみを以て、直に獨立市場を設置すへき必要を認め難きのみならず、該取引市場の設置に付ては其の利弊に關し尚愼重考慮を要することゝ思はれるのである。要するに兩者の出願に付ては、單に株式取引に付てのみ之を考究すれば足ることゝ思はれるのである。後願者は其屢次の陳情に於て、內鮮人の融和を助長するの一端として、現物市場は內鮮人の共同經營たらしむるを可とし、本件に關する朝鮮人の希望を容れられたき旨を陳べられたのであるが、元來總督府は朝鮮に於ける各種の企業に付、出來得る限り內鮮人の協力を希望するの趣旨を以て、從來會社令に依る會社設立の許可に付ても、比較的大規模の企業であつて、其の經營の確實を認むるものに付ては、重役の選任に付ても成るべく朝鮮人をも選定せしめ、又株式の募集に付ても成るべく鮮人の希望者に相當の割當を爲さしむることゝし、比較的資本の收集に困難であり、又事業經營の經驗に乏しき朝鮮人をして、之に依つて企業に協同するの機會を得せしめ、併せて內地人と共に其の

利益に均霑 せしめんことを努めつゝあつたのであるが、自分等は着任以來朝鮮人の經濟力の發達及內鮮人間の經濟的協力と云ふことが、朝鮮の開發上最も重要の問題であると云ふことを痛感し、一面從來得る限りの方針を一層擴張して、朝鮮人の各種の企業を容易ならしめ、又一面有ゆる機會に於て內鮮人間の經濟的協力の必要を力說し、之が實現に努めつゝあることは、諸子の夙に看取せらるゝ所であらうと信ずるのである。如上の趣旨に基き、今回出願の現株市場に付ても、李允用氏等の出願が釘本氏等の出願に比し、半年以上も經過したる後に至り突然提出せしものであるにも拘らず、又其の內容に於て既に許可を與ふるの必要なく又容易に許可し難き事項をも包含せるに拘らず、其の株式を目的とする一點に於て共通の希望あるを認め、特に其の希望のある所を考慮し、處分上の根本精神として、努めて內鮮人の資本及企業の合同の實を擧げん事を期し、以て本件處分の方法を決定した次第である

借入金利率
商議

曩に京城商業會議所の建築費借入金利率は年八步の豫定なりし處其後經濟界の狀況に鑑み年九分五厘位にて借入をなすことに去る二十四日の役員會にて決議したり

商議暖房裝置

京城公會堂兼用商業會議所事務室の暖房裝置は竹添町杉山製作所にて引受け建築工事引受をなしたる鮮土木建築協會の工事以外に屬せる由なるが其の暖房工事も二三日前既にボイラーの取付けを終りたれば試運轉をなし得る運びとなり居れり

江岸守備視察
零下

三十度近き嚴寒に際し鴨綠江岸の守備に就ける守備隊の勞苦は頗る多大なるものあり師團參謀長西田大佐は經理部長芝田一等主計正と共に守備狀況視察の爲め來る二月二日より二十二泊の豫定を以て江岸地方狀況視察を兼ね守備隊を巡閱すべく橘副官の外主計軍醫各一名すべきも人選は未だ決定せざる者の如し

吉野氏葬儀

二十四日逝去せる元本社々長吉野太左衞門氏の葬儀は二十六日東京青山齋場に於て神式を以て執行す

鮮銀支店新設

咸鏡北道清津に朝鮮銀行支店設置の件は一月二十三日附朝鮮銀行法第二條に依り命令ありたり

◎京管局員貯金高 各月末に於ける京城管理局員貯金總額は四十二萬六千九百七十五圓にして前月に比し約二萬圓の增加に當れりと

新設會社

▲本嘉納商店支店 資本金二百萬圓の株式會社本嘉納商店(本店兵庫縣郡所在)が支店を釜山府に設置し清酒及び酒類の製造販賣を營まむとする件は一月二十二日附許可ありたり▲朝鮮セメント瓦製造會社 營業目的變更の件は二月二十二日附許可ありたり▲朝鮮商工會社 營業目的變更の件豫て出願中の處一月二十二日附許可ありたり▲漢江水飴製造所 豫て龍山岩本通牛村田卯一氏等の共同經營に係る漢江水飴製造所は今回資本二十萬圓の株式會社として經營することゝなり石原磯次郎氏創立委員長となり右出願者を其筋に提出したり▲固城自動車會社 高野楢平氏出願に係る固城自動車合資會社設立の件は一月二十三日附許可ありたり同社は本店を慶尙南道固城郡に置き資本金八千圓を以て固城鳥山間の自動車營業を爲すものなり▲山野商店 山野鶴松氏外二名よりの出願に係る合資會社山野商店設立の件は一月二十三日附許可ありたり同店は本店を全羅南道麗水郡に置き資本金三十萬圓を以て酒類醬油味噌醸造業を營まむとするものなりと▲臨波商會 株式會社臨波商會營業目的變更の件は一月二十三日附許可ありたり▲馬山海產物會社 今回馬山府與倉信義、賴繁二、三宅吉郎外數氏發起人となり資本金卅萬圓を以て馬山海產物株式會社を設立其筋に認可申請中▲元東貿易會社 馬山に本店を各地に支店出張所を設置し米麥金巾雜貨水產物の貿易を爲す目的を以て元東貿易株式會社を創設許可申請中

○日本醫藥學校生徒募集 長野縣學科町なる同校は目下生徒募集中にして來る三月より本科第十四回新學期年を開始し一ヶ年を以つて卒業せしむ、卒業後は藥種商兼賣藥請負業者、醫師郡町村技手、取締吏員たる資格を以つて卒業すべき第十三回本科の如きは既に就職決定濟にして他より需要せられし由入學希望者は至急同校へ照會あれ

公會私會

▲日出商業修養會 二十四日午後七時より第四回を日出小學校內に開催上野訓導開會の辭につぎて大村校長は平和克復の大詔を奉讀校內[illegible]祭餘興に移り講師[illegible]元塗の手品、英語科生丸山[illegible]吟等ありて茶菓を喫し午後九時[illegible]

人事消息

▲村田素一郎氏(九州製鋼專務)朝鮮ホテルに滯在中
▲ウエルチ氏(京城美以敎會監督)北京に於ける同會亞細亞大會出席の爲め三日中同地へ向け出發の豫[illegible]
▲久保京管局長 別館中の處廿六日より出社
▲宮崎信路氏(步兵少佐)聯隊區司令官會議列席の爲め二十七日朝京上京
▲井伊軍副官 同上
▲早川師團軍醫部長 二十八日朝京州に向け出發
▲小澤郁二氏(師團司令部附軍醫)二十六日朝開城へ
▲永富一等軍醫 平壤に出張中の處二十四日夜歸署

寸鏖

衆議院では與黨[illegible]頭藏相の失言から[illegible]總立ちの大騷ぎを演じて居る[illegible]從來日本の議會に傳統的に[illegible]調子があるイヤ議會と云はず[illegible]界にも何時も漂ふて居る[illegible]子は何から來るかと云ふと[illegible]政界の興味は政府が瓦解するか[illegible]▲將又政府が議會で散々な目に逢ふより以上のことは無い▲云つた思想が二十三年議會以[illegible]の習風をなして居るのである▲國家に重大なる利害關係を有する法律案が否決せられやうが國民に至大なる利害關係を有する案件が不成立に終らうが[illegible]▲一國務大臣の失言陳謝よりも[illegible]界全般の空氣が不眞面目な[illegible]興味を惹かぬ樣な事があらば[illegible]證據立つるものではあるまいか▲四十二議會の重なる問題は戰後に處する帝國の適當な[illegible]を目的とせねばならぬ▲[illegible]誠意を發して論議せねばな[illegible]提げて臨むものであるか何うか[illegible]ぬ▲政府が果して適切な成案を[illegible]は國家としても國民としても[illegible]も注目すべき問題であらねば[illegible]らぬ事は言ふ迄もない▲政府[illegible]政黨が其作戰のみに腐心し喧嘩[illegible]の準備に重きを置き國政の[illegible]を其方除けとして▲喧嘩に[illegible]なる粉飾を施さんとする[illegible]向でもあらば其は今議會の[illegible]數大問題であるまいか▲國民が[illegible]る事の出來ぬ大問題であらねば[illegible]ならぬ▲政府彈劾などは[illegible]人心之に向ふ時は自ら明白に[illegible]來る事だ▲之が爲に徒らに[illegible]重大の施設も緩急も放擲して[illegible]身を案ずるものがあらば其れは[illegible]文に思ひ[illegible]政府の失政を批難し[illegible]後失敗は自ら明白になる[illegible]▲明白となるの日に於て其政府[illegible]何を以て政權を維持する事が出[illegible]來るか▲此意味に於て近時流行の[illegible]熱狂主義も決して捨てたもので[illegible]もあるまい。

[illegible]三日午後七時東京發二十四日午前七時卅分大阪著住吉の本邸に入りたるが氏は語つて曰く「[illegible]には反對ならざるも其成立は[illegible]

[illegible]の言動は言語に絕し日本婦人を[illegible]等がしめし節あり尙ほ勞働組合[illegible]

氣象日報
(二十六日午前六時)

今朝異動性高氣壓半島大部分以[illegible]江口附近に存するを以[illegible]

○一、六七 ○一、一九

重要電報

欄外にあり

鮮滿片々

全州市區改正

九年度に於ける全州市區改正豫定地は多佳橋の完成を俟ち道廳表門通りより道物産陳列場裏手を經て銀杏の木通りに出でそれより東亞養分工場通りを經て本町通りに出で多佳橋に通ぜしむる計畫なるが道幅は三間として九年度早々より着手する豫定なり而して全州多佳橋は此程に至り大體の基礎工事は竣工したるも寒氣酷烈の爲め工事困難なるを以て尚全部の基礎工事を終る能はざるも本春四月頃には竣工するに至るべし(全州)

棉花の出廻高

全南棉花の出廻りは昨今終期に近づき各販賣所共著しく數量を減ぜるが、今日迄に於ける全南所產の棉花にして市場に出廻れるは大凡そ二千萬斤なるが今後尚約二百萬斤の廻着あるべく結局廿二百萬斤内外にして昨年の豫想高二千七百萬斤に比し約五百萬斤の減少を見るべく之れ綿高に伴なふ自家消費用の增加に因るべく因に昨年度の廻着は總計一千五百萬斤なりき(木浦)

釜山と公會堂

釜山に公會堂建設するの議は多年の懸案なりしが其後建設材料の騰貴と適當なる敷地なかりしの爲め荏苒今日に至りたるも近時府勢の發達に連れ府勢も追々擴張增大されたるに一の公會堂なき爲め府當局は大釜山の建設上其美を誇る者となし府尹は本田府尹は商業會議所議員間に於て愈々其必要に迫られたる意見一致して二三回の會合を經、且府尹の意見を徵し竣成せば用十五萬圓內外にて此際是非設立する事とし費用の醵出方法及び敷地等は夫々調査研究中なりと(釜山)

大連商議建築

大連商業會議所新築計畫は總工費二百五十萬圓四箇年繼續にて大廣場の一角に建築すること、なり其後會議所にて寄附募集委員を選定し各委員に對し寄附金勸誘の通知を爲し愈々寄附金募集に着手したるが同寄附募集に關して世上多少異論を唱ふるものある如きも大連の商議所として二百五十萬圓は多額ならずとの說多く由て既に滿鐵側技師を囑託し今秋歐米に派遣し建築式の視察を爲さしむる事に決定し居れりと尚建築費中滿鐵及び關東廳の出資もあり又寄附內定せるもの百萬圓に達せる由にて順當に進捗し得べしと(大連)

馬山水産好況

[illegible]

約廿三萬圓に達せりと(馬山)

水産會社が近時營業方針の一轉に各方面に活動の結果其成績も頗る良好にして水揚高も日に月に增加しつゝある由は常に耳にする處なりしが昨八年中の前社水揚高は空前の成績を示し

朝鮮の石炭問題(八)

川崎繁太郎

石炭の節約

石炭の節約を考ふるには先づ第一に其の埋藏の餘地如何より研めざるべからず而して之は採掘と消費との二點に於て考慮するを要す。

採炭法

現時の炭價並に採掘法に於ては埋藏の全量を採炭するは元より不可能事に屬す普通行はる、炭柱法にては埋藏炭量の約五割を採炭し得るに過ぎず即ち埋藏炭の半は空しく地下に放棄せざるべからざる狀態にあり之れ炭柱は炭山の終期に於て採炭すべきものなりと雖も其の以前に於て坑内崩落し爲めに炭柱を放棄せざるべからざるに至るを以てなり。長壁法は炭柱法に比し遙に優れるものありと雖も炭層の狀態並に經濟的事情に因り之れを採用し能はざるもの少からず。現今漸く用ゐられつゝある流砂塡充法は此の點に於て最良なる新法なりと雖も亦直ちに採用し難き事情あり。又炭層の厚さに依りて其一部を放棄するの已むなきことあり假令ば厚さ十尺の炭層あらんか天井の二尺は之れを遺留するが如し若し又數炭層の相接近して存する場合に於ては比較的經濟的なるもののみを採掘し其餘りの炭層は坑道の崩壞と共に全く顧みられざるに至ることあり。採炭法の缺點斯くの如きを以て歐米に於ては約七割五分以上を採炭し二割五分は空しく地中に放棄しつゝあり。抑も石炭鑛業に於て其濫掘浪棄は主として資金の過剩若くは過少に因す、資金の過剩は利配の增加上多産多利の方針に向ひて濫掘に走り、遺留せる石炭は將來再び利用するを以て之れも亦濫掘に走る能はざるに至る

朝鮮の如く

鑛業尚幼稚なる地にありては其の域を脫せざる地にありて資金の過少に因し採炭量は恐らく五割以下にあるもの多からざるべし。石炭將來の缺乏を目前に控へ僅かに石炭の人工にても將た天然にても增殖すべからざるものなるを思はゞ誰かたとへ一塊たりとも忽諸に付すべきにあらざるを戀らざるものあらんや獨逸及北米ノバスコシアに於ては現技術上可能の範圍に於て一定區域より最多の石炭を採掘せざるべからざる法規を有す。實に天然物保存上緊要の至りに堪へざるところなりとす。宜しく官には炭礦に關して權威ある技術家ありて施行案を吟味し鑛業家は經濟の許す範圍に於て石炭の埋棄を避け技術家は採炭法を研究改進以て相共に鑛利の濫棄なからしむるに努力せずんばあらず。

政治學上より現今の社會狀態を論ず(四)

佐々木正太(寄)

茲に於てか勞働組合、勞働者强制保險に關する法律を制定し、同時に工場法を改定し、又賃金制度を改善し、所得分配に就き適切有効なる方法を設定する等最も必要なりとす。之を要するに治安警察法は政治上存置を必要とするも、第十七條の制裁は幾分之を緩和するも可也、然れども斯の如きは問題の枝葉に屬するに依り、一般勞働者の生活を改善し資本家及び雇主との間を適切に協調するを急務とす

待遇改善及び差別撤廢

とは殆ど同一の問題なるを以て便宜上併せて之を論ずべし、我が政府よりヴエルサイユ會議に提出したる人種平等案は即ち差別撤廢の最大なるものにして、朝鮮人の主張する一視同仁も亦人種平等を要求するものなり、勞働者の一部たる俸給生活者の一團も待遇改善を要求し、人類の平等を標語となせり、其他下級官吏、教育者官吏等、技術者等は皆平等を熱望せるも、政治の理想は個人の生活の理想の上に建設せられ、政治の目的は個人の生活を出來得る丈け善くすることに存すとせば

此等の主張

は總て之を容認せざるべからず、然れども個人の生活を改善するには各個人間の關係を整理裁決するの必要あり、而も之が政治の眼目たるところなれば、何人も自個の欲する儘に放逸的に安樂を貪ることを得ざるのみならず一方に於て權利を獲得すれば同時に他の一方に於て相當の義務を負擔するを要す。我が政府の提出したる平等案が不成功に終りたることに就ては茲に之を論ぜず、朝鮮人の主張する一視同仁は詔勅及び總督の諭告中に現はれたる文字を其儘に受け取らんとするもの、如し、彼等は曰く一視同仁なるが故に

憲法を實施

し議員を選出し兵役に參加すべしと、然れども前にも述べたる如く權利を主張するには義務を負擔するの能力を具備するを要す、朝鮮人は既に立憲國民たる資格を有するが、果して公民たる資格を負ふの能力を備へたるか、頗

[illegible]

客臘荷動概況(一)

石炭其他輸送盛況 收入二割二分增加

本月中に於ける荷動狀況を見るに發送數量三十四萬七千二百十八噸收入百五萬二千百三十三圓にして之を前年度に比較する時は數量に於て九萬九千五百六十五噸(二割八分七厘)收入に於て二十三萬六千四百三十八圓(二割二分五厘)を增加せり要するに本月中の貨物運輸は前年度に比し風雪多く天候惡しくして一般荷拂上多大の打撃を受け尙は相場の關係上米豆の取引活潑ならず漁業の不振に鮮魚明太魚の出荷少く食鹽は山東原鹽の輸出禁止により減し其他減退したるものなきにあらざるも寒氣の襲來に燃料石炭薪炭の需要頗る多く米價の高値に代用食料として滿洲粟の輸入活氣を帶び木材の輸送順調となり鑛石は鐵工業の發達に連れ搬出旺盛を極め延びて金物類の搬出需要激增し出穀期の關係上縄叺出頗る活況を呈し其他增加したるもの尠からず如上の成績を得たり今出荷の主なるものを擧ぐれば左の如し

順位	品目	數
一	石炭	四三、七七一
二	米	四〇、三四五
三	雜穀	一七、三二一
四	木材	一六、三九六
五	大豆	一一、八四九
六	鑛石	一一、二四三
七	鹽	六、九八三
八	木炭	六、一六五
九	金物類	五、八三八
一〇	豆粕	四、四六八
一一	縄叺	四、三八五
一二	生牛	三、四五〇(六、九〇〇頭)
一三	薪	三、〇九四
一四	鮮魚	二、九六一
一五	肥料	二、三四一
一六	叺	二、一三三
一七	綿布	一、七三九
一八	黒鉛	一、六二四
一九	石材	一、五七六
二〇	明太魚	一、三二四
二一	鹽干魚	一、三二三
二二	石油	一、三〇六
二三	石粉	一、二九〇
二四	セメント	一、一一五
二五	煉瓦	一、〇五一
二六	電器品	八七九

次に前年度に比し增減の著しきものを示せば

品目：石炭　米　雜穀　大豆　生牛　金物類　鮮魚　鑛石　木炭　木材　明太魚　石油

增減噸數：△二、九八七　一二、五六〇　九、七二六　△九、六一二　一、九〇三　(三、八〇六頭)　一、五四七　一、四四五　△一、四一五　四、〇〇〇　三、二四一　二、八四四　△一、三七七　△一、二二四　△九四二

(△印は減を示す)

而して主要貨物の出荷狀況を槪觀するに

石炭 商業の襲來に一般の需要激增し前月中稍不振を呈したる安東發撫順炭も本月に入りて輸送順調となり一萬三千三百二十八噸を出荷し前年同期に比し一千八百四十一噸を增加し尙ほ新安州發安州炭の二千三百十噸は前年同期に比し[illegible]を算し平壤炭は本月中頃より漸く好況を呈し九州炭の騰貴に連れ[illegible]に比し一萬二千[illegible]噸を增加し寺洞發平壤炭の如き前月に引續き好況にして平壤鑛業所發無煙炭又前月と大差なく其他岐陽及龍山、南大門、成歡、大田、大邱、鎭南浦、元山等は著騰の主なるものにして依然龍山最も多く約八千噸に達せり

米 前月中內地市場に於ける相場は酒造家の買付盛なりしに加へて地主の手持筋の賣惜みに頗る高値を維持したりしが本月に入りても新物の廻り捗々しからず殊に外米は產地の自由輸入の主張に應じて民間の自由輸入は到底不可能の狀態にあり尙は暹羅米は到底輸入の結果搬入意の如くならざるべき豫想より却て幾分の昂上を示せり而して鮮內に於ても大勢の支配を受けて稍强調を呈したるも產地は一般に呼値割高にて移出筋は年末期に於ける

木材

階寒に入り建築界不況なり尙に相場の昂騰に伴ひ移出筋も前月に比し稍活潑ならず前月來引續き西伯利經由の前年度に比し特殊の二割を受けたる前年度に比し鴨綠江百余噸の增加は其の主因と見るべく新義州、安東發約八千噸を筆頭に文川、新安州、松坪、餅店、文川發松材及元山發豆滿江口村木材等が其の主なるものとす

雜穀

米價の高値に加ふるに本年度西北鮮大旱魃及び米穀の減收に代用食料として滿洲粟の輸入盛となり就中新義州、安東發最も多く二千餘噸に達せり內地行は前年度に比し約一[illegible]減退し本月は[illegible]噸に過ぎす

[illegible]

大阪財界便り

債券界前途

債券界は近時兎角不振を発れず、同業者中之が爲め壓迫を蒙らんとするもののある位にして月賦販賣の時代は各自二、三十萬圓の債券を所有し之を擔保に銀行より融通を仰ぎ來りたるが其の後月賦販賣の禁止と共に新加入者は減ぜるより當業者中融資者は直ちに持品の處分を爲したれども有力者は今日迄之を所有し來りしが到底見込み立たざるより昨今漸く之が處分に着手したれば纏まりたる賣物時々現はれ爲めに一般當業者は前途を悲觀し居る模樣なり

カバー買占

當地有力なる某足袋會社外二、三の同業者は昨冬利を博せし勢ひに驅られて奇利を試み更に市場製品の買占めに着手したる著しく相場を昂騰せしめたるが東京方面の相場が割安なりしは更に買進みて前後兩回に多額の買付を爲したれば其數量も意外の多額に達せしも實需は豫想に反せること著しく歳末の氣配不良なりしは見込み外れの模樣にて時期も仲間取引時期遅れは遂に買占派も多少懐の底落は益々買占派の苦境に陷り居る模樣なりと

入札建築不振

近年一般財界好況のため土木建築の企業多く建築界爲に殷賑を呈したるも請負業者は材料の騰貴に結果缺損となりしものも少からざるまでも手一杯にて利益を得しもの少からず由つて之れが爲め工事上手拔きをなすもの少からず甚だしきに至りては中途工事を拋棄するもの、さへありて双方ともに多大の損失となれば近來慎重に工事を企つるものは競爭入札を避くるの傾向となれり

寫眞は著者高木博士　(一〇一七)

▲誰でも出來る子宮病自宅療法

無代で送る女一代の衞生書

▲子宮病の症狀

一口に子宮病と申しましても、其中で種類は澤山ありますが、其中で最も多い容態は如何かと申せば、大抵下腹部の緊張、重感、下り物、つり痛、又は手足腰の冷感、腰重、腹に塊が出來て內股より腰に苦しく尿意頻繁となり、月經痛又は不順となり、子宮は屈痛みを感じ、發熱、頭痛、寒惡、頭重、耳鳴、逆上、便秘、動悸、不眠、なごを伴なひ、取分白帶下として局部から泌分する粘汁の樣なものも有り、卵の白味した様なものとも申ても背色い膿汁の樣に粘稠したのもあれば血液を含んだ膿汁の樣なのも有升。其他種々樣々の種類があつて而して毎日の樣に澤山下るのもあれば、月經の前後にほんの少しかない御方もあります。所謂おりものは皆此の樣に種類の違ひますのはつまり病氣が急性であるとか、慢性であるとか或は病氣の性質によつて違ふのであります、何れにしても

▲恐るべきおりものの害

此おりものの恐るべき所以は第一に女子の大切なる務めが出來なくなり、妊娠を妨げて不妊症の原因となる事で有升、詳しく申せば子宮の炎症障害より來るおりものは强烈なる酸性を帶びて居るから其毒の爲に妊娠の根本を絕つ事となるのです、よしや偶に胚胎しても滿足の發育を遂げずして中途に流産、早産、難産を來す事になり升、おりものが婦人の身を害するのは實にこれのみでない永い間おりものが續くと膣内の血液を消耗して爲に貧血を起し衰弱を來し顏色青ざめ呼吸困難心悸亢進、手足痺れ、譫妄、頭痛、胸つかへ、四肢倦怠、胃弱、眩暈なごかはるぐ其身を惱ますに至るのであり升

▲知らぬが不幸

世の中には五年十年と久しく苦しんで居られる方もあり升、然し悲しい哉其苦に泣き果てゝ自暴自棄に陷つて居られる不幸の御方もあり、又彼れか此れかと迷ふて治療の方針を誤つて居られる方もありませうが、何は皆さんが御自分の病氣に就ての大事になるのであります命に拘はる大事になるので居る樣な所もあります。

是非この危險を避けるには實に此の子宮病の根本原因となる病原を一掃して

(ヒステリー血の道は如何して治るか)

(子宮病の特徴は如何)

(ドウいふ婦人病が自宅療法で治るか)

(無病の樣な人に姙娠せぬのは何故か)

(おりもの療法は如何にするか)

(月經不順は如何にするか)

其他(女一代の衞生)に關する事柄を網んで含める樣に最も親切に指示せられてあるから此書冊さへ一讀せば「アー成程ソーいふ譯のものか」と直ぐ合點ができて安心して治療の目的が達し得らるるのです既往十數年間に本療法に依つて救はれたる方々は幾十萬人とも數へ切れません＝讀は急げです＝今直ぐ御申込下さい

郵便ハガキ(又は封書)にて右の書物貼付して命の母本舖　京城府新町四丁目一番地へ御申込あれば榮用と送料は共に本舖に於て負擔して進呈いたし升、何人にも無代にて送本

商業登記公告

[illegible]

右大正九年一月[illegible]日登記

京城地方法院

登記公告

市場組合金融組合登記事項中抹消右監督者死亡

大正九年一月二十三日登記

金川出張所

賛化病院

京城府黄金町一丁目　電話二四一番

內科　小兒科　入院隨意　施療す　毎日五名に限

醫學博士　古城憲治

醫學士　打田義芳

大成功　大金儲けの特約店募集

吾人生存上無くてならぬ日用品百貨を現今の二倍以上の安價で而かも同等仲次問屋の手を經ず直送卸小賣する特約店希望者は郵券六錢送れ無經驗でも出來る新方法の營業案內と百貨諸般の原價表送る

東京神田萬世橋際日本通商聯絡會

刑事專門辯護士　本木房吉

京城府黄金町三丁目三十番地(大阪トラック東側小路入ル)

電話長二四一三番

パイン萬年筆

正宗は切れるが故に名高く　パインは書けるが故に名高し

米國製正十ゲンヤ付ペン　付B形太金イリジウム付　安全金付八圓　同上無飾付八圓　同上金飾八圓　最新彈力式八圓八拾錢　安全インキ止式　同上特別　同上無飾

京城代理部　京城日報社　振替京城三百番

ヒコーキ印粉劑消火器

火事ハ小火ノ内ニ消スコトガ大切デアリマス

特價貳圓五拾錢　送料參拾六錢

京城本町　熊平支店

電話六二九番・三五〇二五番　振替口座(京城)二一二番

理想的で經濟なる總ゴム靴

▲耐久力皮靴の三倍以上▼

近頃靴の需要が漸く激增し從つて價格も騰貴しごんな粗惡なボックスの皮靴でも八圓はするそれで二三ケ月も使用すればもう直しも利かぬ樣になり實に不經濟で御話にならぬそこで弊店は今回多年斯道に經驗深き技術家を招聘し原料は產地より直取引にて總ゴム靴を製作販賣する事にした販賣と云ても利益を隔てゝ投出すので價の安いこと云ふ事は丁度市價の半額で其上堅牢な事は天下一品で他に類のない紳士用の上等品で足の痛む事も無く心地も頗る好く又保溫用に最も適し雨天の時は足袋も濡れず殊に水靴の變り輕快で雪の日にも靴下の破れる事もなく泥の污れも洗へば落ち實に便利此上なく雪中の水溜り心地もよく比でない使用出來る品物で本品は雪靴も冬は暖で夏はサラリとして特製の總ゴム靴で定價八圓と云ふ所を今回は御披露の爲め特に一足參圓五十錢で提供致す事にしましたから續々御注文あれ代金引換郵便小包で送料三十錢は返金で急送致します

東京小石川戸崎町三十三番　振替東京四六三一番

紅葉屋靴店

一般貿易委託販賣

釜山府本町四丁目

南鮮貿易株式會社

釜山支店　電話七七九番　電略(ナフ)又八(ヨ)

▼移轉廣告

本院從來明治町二丁目ニ開業致居候處今回業務擴張ノ爲メ左記ノ箇所ニ移轉仕候

本町三丁目九十二番地(舊座跡)

眼科　內科　荻原醫院

電話二二六七番

荻原長藏

滿洲安東縣江岸通二丁目　日陞公司

豆粕豆油製造業　安部油房製品一手販賣　粟雜穀取扱

電話日本三〇・一九三・貳〇九　支那一〇貳一　電略（ロ）　振替貯金口座京城四二六番

合資會社　安部油房　右代表者　金井佐

眼科專門　金井眼科醫院

京城若草町(總督府前新道路中程)　電一五五六

新築落成◉入院隨意◉日曜祭日午前中

開業御披露

謹啓新春の候各位益々御多祥の段奉慶賀候扨て今般左記の處に於て支那料理開業仕り尤も日本人嗜好に適する料理法を以て調理仕り候間續々御來店の程奉願上候

北京流支那料理　長崎名物チヤンポン

京城本町三丁目　秋聲閣

電話(取次)三〇二七

イケダ小兒內科病院

池田季

京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目　電話(病院二三五四)(自宅三〇〇)

▲▲精米業、雜穀、糠、麩、質屋業

京城本町四丁目　佐野仁作商店

電話一四九二番・一〇七〇番　振替京城七四〇番

朝鮮古郵券販賣　目錄無代進呈

優等清酒

京城永樂町二丁目　本莊酒店

仁川京町　本莊支店

安東縣大和橋通　本莊支店

朝鮮銀行

總裁　美濃部俊吉

資本金　金四千萬圓

拂込濟資本金　金參千萬圓

積立金　金四百貳拾壹萬八千圓

預金、貸出、割引、海外諸爲替、地金銀賣買其他一般銀行業務並朝鮮滿洲及支那ニ於テ金庫事務ヲ取扱申候

支店出張所及派出所

內地　東京　大阪　神戶　下關

朝鮮　釜山　大邱　仁川　群山　木浦　鎭南浦　平壤　元山　會寧　羅南

滿洲　大連　旅順　開原　四平街　長春　哈爾賓　奉天　遼陽　營口　傅家甸　吉林　安東縣　鄭家屯　齊々哈爾　奉天新市街　龍井村

支那　上海　靑島　天津　濟南

露領浦潮斯德　(交換所)ブラゴウエシチエンスクハバロフスク

右ノ外倫敦、紐育、巴里其ノ他內外稱ノ地ニ爲替取引先有之候

瀨戶外科皮膚科醫院

京城旭町二丁目(舊三丁目)

醫學士　瀨戶

(診察夜九時迄)(電二四九八番)

東京大相撲春場所（千秋樂）

東京大相撲春場所十日目千秋樂の勝負は左の如くなるが西方陣に於ける結果初日以來連戰連勝し六日間の敗戰を重ね居たるに美事雪辱して勝星の差十一を殘し遂に優勝旗は西方の手に歸した（東京特電）

十日目勝負

野州山	打遣り	獅子ケ嶽
若太刀	引分け	陸奥の山
桐の花	吊り出し	眞砂岩
千山	叩き込み	佐賀錦
綾鬼	浴せ倒し	峯の松
太刀の海	腰砕け	高の山
太刀光	押し切り	若常陸
大鳴門	寄り切り	八甲山
射水川	寄り倒し	御西山
阿久津川	押し切り	若葉山
友ノ浦	突き放し	鶴ケ濱
小松山	寄り切り	岩木山
東雲	捻れ込み	綾川
小牛田	寄り切り	釋迦嶽
逆鉾	腰砕け	琴ケ浦
兩國	下手投げ	矢筈山
宇都宮	上手投げ	岩[illegible]
駒ノ泉	打遣り	白岩
藤ノ川	吊り出し	宮城山
紅葉川	捻り	大門岩
三杉磯	寄り切り	對馬洋
千葉崎	引分け	大錦
摩耶風	叩き込み	大ノ高
能代潟	寄り倒し	土州山
黑瀬川	吊り出し	逢ノ矢
福柳	掬ひ投げ	大戸平
阿蘇嶽	押し切り	大ノ里
清瀬川	掬ひ投げ	源氏山
大潮	引分け	常ノ花
栃木山	寄り倒し	鳳

優勝旗は西方へ　勝星の差は十一

▲若湊に宇都宮は右四ツ宇都上手投げにて勝▲白岩に駒泉は白二本差し西溜り前まで寄り駒危うく打遣つて駒の勝▲藤の川に宮城山は左四ツ釣り出て藤の勝

▲紅葉川に大門岩 は紅葉左差し右筈捻つて勝

▲三杉磯に對馬洋 は對馬上筈突張りを見せしも利かず右四ツ掬ひ投げ打たんとせしに三杉左上手褌を引き投げにて防ぎつゝ寄り切りての勝は美事なり

▲千葉崎に大錦 は右四ツ千葉兩褌を引き錦下手褌を引き左に捲き上ぐるこ見せ上手褌を取り一呼吸後水入りこなり千葉寄り錦廻り込んで防ぎ終に分けこなる▲大の高に摩耶の風は突き合ひ叩き込んで摩耶の勝

▲鳳に栃木山 は左四ツ栃木掬ひ投げ打ッて寄り鳳よく廻り込んで寄り返し栃木右を割り込み二本差しこなり寄り倒して栃木の勝

▲大潮に常の花 は突き合ひ手繰り合ひ双方疲れ水入後常寄り解き左筈に行き潮引ッ放し右四ツこなり終に引分け

▲清瀬川に源氏山 は突き合ひ左四ツ清素早く差手を抜き出し投げ打ち殘るを左内掬ひ投げにて清の勝は美事也

▲阿蘇嶽に大の里 は阿蘇敵の右を捲き込み右筈押し切つて阿蘇の勝は大喝采

勝▲十州山に能代潟は右四ツ十州肩透しを見せて引き能代凭れ掛り寄り倒して勝▲黑瀬川に逢ノ矢は逢小手投げに行き黑瀬二本差し吊り出して勝▲大戸平に福柳は福右差し寄り平小手投げを打ち福掬ひ投げにて勝

右の中▲大鳴門に八甲山は右四ツ苦もなく寄り切り鳴門の勝▲射水川に御西山は突き合ひ射水投げを打ち殘るを寄り倒し射水の勝▲阿久津に若葉山は若葉双筈一氣に押し切りて勝▲鶴ケ濱に友の浦は友二本差し寄り鶴殘さんこするを友突き放して勝▲小松山に岩木山は右四ツ小松釣り身に寄り切つて勝

▲東雲に綾川 は綾右を引つ掛け東雲其の手を預けて凭れ込んで東雲の勝▲小牛田に釋迦ケ嶽は小牛左差し右當て寄り切つて勝▲琴ケ浦に逆鉾は逆顎を攻め琴土俵へ押まり足滑らして琴の敗▲矢筈山に兩國は左四ツ下手投にて兩の勝

忙中閑あり（早川師團軍醫部長の餘技）

內地で勞働する 鮮人の狀態（四）

中には日鮮同化で圓滿なのもあるが

雨風につけて同盟罷業

數十名の鮮人勞働者がドヤ〳〵引揚げて來たのは其態度や動作によつて只事でない事が知れた口角泡を飛ばして盛んに氣焔を揚て居る或一人を捕へて『何事が起つたのか』こ訊ねて見るこ

果せる哉 只事ではなかつた。それは勞賃引上運動の爲め罷業して今引揚げて來た處だこ云ふ事が分つた。其結果が何うなつたか解決のつく迄其處に居なかつたので不明であるが後で聞けば斯麼事は度々行はれる事で極寒い日こか雨が降る日こか仕事が嫌になるこ

勞賃引上 げを口實に引揚るのださうで決して珍らしくも何こもないこ云つて居る。罷業も斯うなるこ呑ん氣なもので寧ろご愛嬌だ。斯んな罷業は打ち捨てゝ置けば元來が瀨けから出た罷業であるからすぐ出て來て働く樣になるこ雇主の方では頗る平然たるものである余は或鮮人勞働者から斯麼事を聞かされたそれは斯うである『內地へ働きに來てからの自分の考へは朝鮮に居た時こは

コロツこ 變つたこ云ふのは外でもないが內地人が斯程迄に鮮人を理解して居て吳れるこ云ふ事は實に意外であつた。斯うして內地に來て居る自分達は

鮮人であるこ云ふ觀念がされて內地人同樣同じ陛下の赤子であるこ云ふ觀念が强くなつた』こ其結果でもあるまいが

內鮮人の 緣組が出來た者が既に數組に上つて居る中には子供を設けた者さへ尠くない餘は寫眞機を向て寫眞を影うこするこ何故かバラ〳〵逃け出して終つて遂ふ〳〵姿を見せなかつた何等かの迷信があるのであらう（完）（柳堂）

路上スケッチ

處は鍾路 横町通り 突當り

の立ち列ぶ小路こ言ふ小路は皆な捨てろ場所も無く路上ツル〳〵の光景を呈し大供小供の別なく嬉々として滑て居る、偶々通行に及ぶ明太の子や玉うごんそばやも或るのめり尻餅もつく有樣である折りしも通りかゝつたのは年の頃ほひ六十四五にもなん〳〵こする蜜柑賣りの老人滑るわ〳〵箱にうづ高く積まれた蜜柑は惜げもなく地上に轉がり落ち主人の後を蓋て蜜柑も共に滑て行く『アイゴー』おゝスけ!』

保險界から見た 流感

さしたる影響もないと

流行性感冒は大分下火になつたらしいが內地は今が猖獗の最中らしい全鮮各地は既に

終熄期に 近づく京城なぞは殆ご其影すら聞けなくなつたもの、京城府だけで發生以來內鮮人取交ぜて死者約三千を突破したこ云ふ慘禍を釀すに樂くべきものである此流感が朝鮮の生命保險界に及ぼした影響は可成大きなものだらうこ思はれる所が今次の流感は主こして京城其の他二三地方にのみ猛烈な蔓延をやつたが一般的には左程でも無いので大した打擊はなかつたらしい日本生命帝國生命なぞは未だ

取調べ中 で明確な數字を擧げ得られないが平素に較べて非常に大きな被保險者死亡率增加はないやうで從つて大きな影響はないらしい横濱生命では流感死亡者は僅に六件六千圓位の見當だが確かな數字ではないこ云つてゐた兎も角各生命保險會社

京城支店 こもに別して大きな被害はないらしかつたやうである

仁商會頭 選擧無效

飽迄祟る會頭問題　再選擧を行ふ

仁川商業會議所會頭選擧は幾多の波瀾を經激甚なる競爭の下に去二十三日遂に選擧の結果僅に

一票の差 を以て吉田秀次郎氏の當選を見たるが同投票には評議員外特別評議員一名の投票あり之れ商業會議所定款に抵觸せる違法の選擧なるを以て當然無效たるべきものなるが更に翌二十四日岡本書記長は直ちに本府に出頭局課長に其意見を求めたる結果無效たるべきを至當なりこの解釋を與へられ歸仁早々二十四日午後三時より役員會を開き善後策に對する

打ち合せ を爲したり而して會議所は二十六日午後一時より緊急要議を以て會頭選擧無效建議案を附議すべく評議員會の召集を爲したるを以て一兩日の後更に改めて選擧を行ふ事こなるべし元來特別評議員投票資格の有無に就ては會議所令第八條に明示せる評議員會の成立を廢義に解釋し以て直に會頭は

評議員會 に於て選擧すべきものこ速斷せるより此の違法を醸せるものなるが如く之が解釋に就ては商工課長も一度はりこ云ふも定款第十條に依れば特別評議員の投票資格を認めた會頭及び副會頭は評議員中より之を互選すこ明かに規定しありて決して特別評議員を抱合せず之を以て其無効たるは明瞭なる事實なりこすべく遂に嚢の吉田氏當選は無効こして再び選擧を行ふに至れり（仁川）

十日目の殊勳者　阿蘇ケ嶽

西伯利出動の 野砲兵

市民は擧つて犒へ　三十日通過

西伯利に出動を命ぜられたる第十三師團野砲兵第十九聯隊は聯隊長指揮の下に來る三十日午後一時龍山驛着一時間停車の後北行すべく市民は二十四五の兩日に勞らぬやう熱誠を以て送迎さるべきものなり貴菓子等の寄贈は豐富なるも酒の寄贈は朝鮮銀行より一樽たるのみにて何こなく寂寞の感あり西伯利の寒さこ暴虐なる過激派こ戰ふ同胞の勞苦を思はゞ有志は來る三十日迄を十分稿の要あるべし

館洞の火事

廿四日午前十一時五十分頃府內館洞七十七番地劉春伯方より發火したれば南大門黃金町消防隊馳せ付直に消し止めたり原因は焚火の不始末にして損害五十圓位の見込なりこ

京城短歌會

來る二月八日第二日曜を期し京城短歌會を開く、同好の士の參會を歡迎す、尚出席不可能の方は左記兼題こ共に住所姓名明記の上御通知ありたし（原稿印刷都合上寄稿は迅速を尊ぶ）一般に投稿は自由こし兼題は互選の上發表す

▲會期 二月八日正午
▲會場 追つて發表
▲會費 五十錢
▲兼題『窓』『春』 各一首宛

京城日報社內　京城短歌會

一月廿八日（舊十二月八日）水曜日

ぬが宜しき日さ但し舊事は吉中

▼七赤▲善くも惡くもなき日

▼二黑▲何て脚下の見ゐぬ日也

▼八白▲萬事成就のよき日

の中から千圓 拔取犯人分る

り五千三百圓入白紙包を預かりたるがフト惡心を起し該金の中より千圓を竊取したるもの[illegible]

不逞漢控訴

常時在所[illegible]

能方に闖入して朝鮮獨立の資金を要求し五千圓出せこ强要し八十五[illegible]

姦夫本夫を

[illegible]

演藝案內

日本活動寫眞會社代理店 櫻井町 大正館 電話八七三

△當る廿三日より謝恩大提供
△實寫『佛國相僕』長尺
米國ユニヴァーサル會社大作
▲大滑稽 ニコ〳〵デブ君の撰手 二卷
△米國ヴァイタグラフ會社傑作品
▲泰西正劇 被後見者 全四卷
△日活會社八年度最終大撮影 松之助以下總出勤 決死奮闘劇
▲舊劇 大石內藏助實傳 全七卷
赤穗の城主淺野采女之正半狂亂さなり家臣を苦しめ居るより內藏助は松之丞の計らひにて病氣全快さなる采女之正の一子內匠頭は吉良に辱めを受け松之助は差支へなしに依り內匠頭は切腹上野之助の刃傷罪に依り其の事より內藏之助初め一同根のみ恐る敵に欲しの吉良を討つて主君の骨を靈前に獻じ忠臣の實傳を大石の幼時よりんさ吉良と本懐切腹迄背景に古城を得る用いて事を使つて最も忠實に松之助の大石劇なり

本町二丁目 壽館 電一〇五〇
▲當る一月廿六日より午後五時開場 女歌舞伎中村鯉登一行
▲壹番 平假名盛衰記
▲二番 鎌倉三代記
▲梶原源太景季、三浦之助、坂東みどり▲女房およし、おくら、市川弥枝▲下郎車内、母、中村みさほ▲冊延藤娘、姫、中村君子▲梶原平次、富川四郎、中村鯉蝶▲船頭松右衛門（實は樋口次郎）藤三郎（實は佐々木高綱）中村登

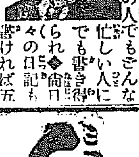
天然色活動寫眞株式會社京城黃金町一手特約代理店 黃金館 電一六二七
△當る壹月二十五日より
△喜劇『ハム王妃』
▲舊劇『村雨金五郎』 澤村四郎五郎、市川延十郎一派出演
矢部三十郎は赤穗に於いて富森小太夫と試合一の遺恨に殺害なし逃走す三十郎さ古郷へ一子助左衛門は父の仇たんさ念佛大郎兵衛の子を發足す、戶狹の兄ご三十郎は江戶に金五郎か自分の兄さ知り共に仇討す村雨
▲泰西活劇『生ける假面』 六卷 米國カレム會社傑作
アニタ一の鰥夫はクレーさ言ふ人の手形を僞造したクレーはアニタ一に懸慕結婚を强要すクレーは暗殺されたりしも犯人の嫌疑はアンタ一にか」りしも犯人は母である事か判り出獄後立身出世す
▲新派悲劇『ある磯』 全四卷 天活新規特別大撮影 大山武一派出演
某富豪の一子證一郎は東京に於いて光子さ云ふ女さ戀愛の仲であつたが家事の都合で古郷に歸る內他の女さ關係し破瀾を起す大悲劇

本町一丁目 喜樂館 電九九七番
當る壹月二十三日より特別大提供
△實寫 アラビヤ人の風俗
米國ヴァイタグラフ會社傑作品
▲人情劇 炎情 全四千呎
纏さ肉さの鬪ひを諷刺した深刻な人情劇で演出の巧妙技術の幽大痛切に藝術的映畫氣分を味ふ事が出きる傑作品です
米國パラマント特作品 ニコ〳〵活劇
▲滑稽 デブの濱遊び 全二卷
日活京都派新規大撮影松之助奮闘劇
▲舊劇 梁川庄八 全八卷
仙臺藩の浪人仙臺の家老茂庭周防を討つて青葉城下を去つた梁川正國が諸國遍歷の後藩代主膳兄弟の敵眞柄車十郎を倒し天下に名高き梁川義俠傳
本日より五日間提供 土曜日曜祭祝日一日十五日晝夜開館

大正館
▼大好評 連夜七時滿員 御禮
松之助大車輪劇 大石內藏之助實傳 幼時より仇討本懐後切腹迄
ニコ〳〵劇 デブ君撰手
活劇 被後見者

黃金館
天活東京派新作 悲劇 ある磯 全四卷
新派 悲劇 次回三十一日より三日間 村雨金五郎 全四卷
公開可仕候間陸續御來館願上候
泰西活劇 生ける假面

京城明治町 浪花館 電話二六〇
京阪大合同落語大演藝會
當る一月二十五日より（正午後六時開場）
落語　枝太
落語　奚笑
落語　笑遊
落語　東坊
落語　我枝
落語　三花
落語　萬助
落語　竹　小
落語　家
落語　門
落語　風
落語　遊
落語　中川
大切 餘興 一座總出
人情噺 天下 ダ



永代日記

頗る便利で經濟的な

◇新時代の日記
▲思ひ付た其日から書けて十年でも廿年でも書ける日々平凡な定り切つた事を書いたのでは何等の記錄にも參考にもならない本日記は事件や感想の起つた時隨意に年月日を書入れて記入し得る樣頗る便利經濟的に考案せられてある故に本日記はごんな筆不生の人でも忙しい人にでも書き得られ◆尚日々の日記も書ければ五年でも十年でも一生の日記でも書ける仕組にして思ひ付いた其日からの日記も書ければ過去の日記も書き得らる故に本日記は自己の歷史こも亦重要記錄こもなりて永久に保存出來得らるれば繁忙なる事務家は勿論誰にも必要缺くべからざる日記である

◇附錄 諸届書式▲知人名簿◆運勢早見表◆收支統計表◆家計簿◆圖書目錄◆早金表◆納稅一覽表◆家庭經濟其他必要事項を附し飽迄便利經濟を主こせり▲四六判總布製紙質極上 此際特價 一圓五十錢（並製一圓）
部數限定者は代金引換にても送品
希望者は早く注文なれば送料十錢
▲入前金註文次第新聞名記
東京青山南町六ノ四五 有教社
振替東京二七四七三番

廣告

木村林吉

右ノ者從來集金トシテ使役致シ居候處今般本人ヨリ辭職致シ候ニ付解僱仕候間爾後關係無之事ニ付茲ニ廣告仕候也

千代本

尚今後ノ集金係トシテハ婦人ヲ使ヒ候間御承知被下度候
京城旭町壹丁目

車夫用雨合羽

人力車製造販賣

修繕 其他附屬品一式

京城黃金町三丁目 製造工場 黃金町三丁目一八六

西田支店

並ニ釀造用 種麹もやし 特約販賣

主効

▲風邪、發熱一切▲頭痛逆上▲たんせき▲寒さあたり▲足腰の冷込▲婦人冷込より起る諸病に特効あり

定價 十五錢、三十錢 五十五錢、一圓二圓

東京下谷池の端仲町廿七 發賣本舖 守田治兵衛 電話下谷（三五 二九八五）

全國到る處にあり

公示催告

京畿道仁川府本町四丁目八番地 申立人 河野求馬

一船荷證券 番號第三九三號、品名個數價格自轉車用タイヤ入木箱貳個價格金五百五拾九圓、荷送人大阪市北區天神橋筋一丁目森永商會、荷受人仁川府本町四丁目八番地河野求馬、證券作成年月日大正八年十一月七日、證券發行地大阪、發行者大阪市北區富島町尼崎汽船部大阪支店代理大倉正明ノ名稱汽船大有丸、荷物受取場所仁川、最終ノ所持人前記申立人

右證券ニ付前記申立人ヨリ公示催告ノ申立アリタルニ依リ其所持人ハ大正九年八月三十一日午前十時迄當裁判所ニ其日ヲ期日トシ權利ヲ届出テ證券ヲ提出スヘシ若シ屆出ヲサルニ於テハ前記證券ノ無効ヲ宣言スヘシ

大正九年一月二十三日
京城地方法院仁川支廳

謹告

新春之候各位益御清祥奉慶賀候這般新義州中村製材所を基礎とし從來の製材業及車輛製造ベニヤ板製作の目的を以て鮮滿木材車輛株式會社を設立し業務開始仕り候條向後各位特別の御引立を蒙り度御願申上候右開業御披露旁及御挨拶候也

鮮滿木材車輛株式會社

本店 神戸市
支店工場 新義州鴨川町 電話二四四

資本金 五拾萬圓

營業概目
一 製材製函
一 車輛製造
一 ベニヤ板製作
一 造船

社長 伊藤孝次
專務取締役 中村柳吉
常務取締役 其阿彌直次郎
取締役前代議士 森本駿
同 工學博士 猪木土彥
同 石丸眞次郎
同 藤井愼一
同 藤生五一
同 加藤鐵次郎
監査役 稻岡猪之助
同 武田常次郎
同 網永傳吉

今はワカルシューム錠を試驗するの秋なり

獨林醫學博士は自體に試み有効なるを經驗せり

全家族に之を服用せしめて惡性感冒來襲の鐵條網を張られよ

片瀨醫學士は全家族に應用して大に效果を擧たり

內外醫學者の實驗報告を網羅せる說明書御申込次第進呈す

全國藥店に販賣す

大阪道修町 和田卯助商店

田中丸病院

京城西小門町一二二地番

院長 醫學士 田中丸治平
副院長 醫師 上野和夫

【入院隨意】普通病室隔離病室の設備あり
電話 八八五番

營業開始

支那原鹽販賣 並に 仲營 ▲質營業

從來使用の（電話二三五番）（五四六番）に變更仕候

仁川本町二丁目十一番地
代書　阿比留福
電話　五四　略（一）又ハ（二）

醇良清酒

京城岡崎町 特約店 島屋總本店 電話九〇三番

營業希望者に告ぐ

所在京釜線永登浦驛ヨリ約五丁
一住宅二棟四十坪、一倉庫一棟一二〇坪
一朝鮮家屋一棟四十坪
一農具其他一式
一附屬地六千八百坪（果園五千八百坪、田一千坪）
外畓一千八百坪
右都合ニヨリ至急格安讓渡
希望者ハ左記へ御來談但紹介御斷リ
京釜線永登浦　三交農場

壬生醫院

入院隨意 電話六一六番

往診 自午前八時 至午後十二時
宅診 （午後二時以後）
喀痰、血液、糞尿其他細菌的檢査診斷の需に應ず
仁川仲町一丁目（仁川俱樂部前）

河又隆太郎儀非常之節ハ寒氣ニモ不拘遠路之處御會葬被成下御厚志之段奉謝候混雜中御尊名伺洩可有之哉モ難計候間乍略儀以紙上御禮申上候
大正九年一月二十五日
妻 マサエ
親族總代 佐藤礒治郎
友人總代 田中嘉助

荊妻リウ子儀流行性感冒ニ罹リ今廿五日午前九時死去仕候間生前辱知諸賢ニ謹告仕候
追テ葬儀ハ來ル廿七日午後一時自宅出棺仕候
一月二十五日
夫 戶川金藏
親戚 依田輝吉
總代 關本鐵藏
友人 利光小三郎
總代 吉城與四郎

▼五黄▲決著の付き難き日なり▼一白▲結構な日にて[illegible]▼七赤▲戲多のことには手を出[illegible]め金談建築結婚其他一切に吉[illegible]

御婚儀御內約成立

賀陽宮恒憲王殿下には九條道實公第三女敏子姬と御婚儀の御內約成立せるが王殿下御成年式後其の式を擧げらるべしと（東京特電）

京城の中央に 上景氣な賣買の聲
二十六日愈々認可になつた京城株式現物市場
內鮮人合同で株式配分は普及的

難産に難産を重ねた京城株式現物市場は二十四日朝鮮人有力者若干名を發起人に加へ更に追加出願をし結局內鮮人合同の形式を具備して遂に二十六日芽出度く認可の指令に接した。之に依て朝鮮にも有價證券の公定相場が立つ譯で、**啻に京城** 府の株券放資者を悅ばすのみでなく全道の資産家並に投資者に與へる利益は多大なるものがあるであらう扨愈生れ出た京城株式現物市場の內容は既記の如くであるが資本金三百萬圓總株數六萬株の內一萬五千株を京城を除く商業會議所所在地の**內鮮人に** 二萬一千六百株を京城及び內地の內地人に一萬株を京城在住の朝鮮人に配分し一萬株を公募に附し殘餘三千四百株を發起人の持株として一名に付き二百株を割當る由にて發起人が多大の努力を盡して漸く許可された株式を斯く一般的に普く各方面に配布して發起人が**利益壟斷** をせなかつた事は假令夫が或事情に基くにせよ此現物市場が將來發展の上には却つて多大の効果のあるもので、發起人の苦心は諒とするの價がある、許可された市場設置の場所は豫定の如く明治町**東拓前の** 空地にバラック式の建物を急造して至急市場の開始を圖る計畫で株式募集其他諸般の準備も着々進行中だから遠からず京城の中央には景氣の好い株式賣買の呼聲が聞かるゝことであらう。

瑞西の科學的 探檢隊
第一に日本を來訪せん

瑞西の 科學的探檢隊は近くカムチヤツカに赴く可く第一は日本を訪問し右探險を終る迄には二三箇年を要す可しと（倫敦電報）

李王殿下の 御見舞發電
池田侯其他へ

李王殿下には池田侯母堂逝去に依り御續柄の伏見宮、閑院宮、東伏見、久邇、朝香、東久邇、北白川、賀陽、梨本の各宮家へ二十四日御見舞の電報を發せられたり

第廿師團 勤務演習
本年召集期

本年度第二十師團管內に於ける勤務演習は左の如く豫定を以て實施せらるゝ事となれり即ち**步兵は概ね** 七月十九日より八月二十二日までの間第二十師團各步兵隊にて、又騎兵、野砲兵、工兵は概ね七月一日より八月四日迄の間第十九師團各隊に於て又重砲兵は概ね八月十五日より九月十八日までの間鎭海灣重砲兵大隊に於て又經理部衞生部獸醫部の者は概ね八月二日より八月二十二日迄の間**第二十師團** 各隊及び龍山平壤兩衞戍病院に於て實施さる右に付き第二十師團管內在住の在鄉軍人にして前記各隊に於て勤務演習に應ぜんとするものは在留地勤務演習應召願を三月一日までに本籍地聯隊區司令部に到著し得る如く本籍地市町村役場を經て提出すべしと猶第二十師團管內に於ける本年度簡閱點呼は概ね**九月に於て** 實施せらるべき筈に付第二十師團管內に於て之を受けむとするものは四月一日までに聯隊區司令部に到著する如く在留地簡閱點呼參會願を本籍市町村役場を經て提出すべし

鮮銀十五萬圓被害詳報
黑服拳銃の馬賊
十四五名の一隊、護衛巡査を射殺、現金を強奪し去る

去る四日朝鮮銀行會寧出張所より龍井村出張所に現金十五萬圓を遞送の途中頭道溝（龍井村を去る西北約二里）に差し掛るや**支那馬賊に** 襲擊を受け現金を強奪され護衛巡査長友氏及び同行鮮人一名を慘殺逃亡せるは既報の如くなるが遭難者の一人たる會寧鮮銀出張所行員金容億氏より京城本店への報告によれば右十五萬圓を一見金員と氣付かざる樣ドングロスに梱包し之を馱せる馬を先頭とし次に郵便物を馱せる馬、次は後衛巡査長友氏次は金容億氏外に**鮮商人一名** の順次にて會寧銀行員春口氏及鮮人巡査一名は相當の距離を持して前記頭道溝に差し掛かりたる時は既に薄暮に迫りたる午後六時頃なりしが突然十四五人の黑服を著せる一隊と行き遇ひたるを以て一行は之を路傍に避けたるに突然一行はピストルにて長友巡査と鮮人一名を射擊したる故金氏は驚愕の餘り急遽馬に乘りたるも落馬し其の儘馬に引きずられ**喪心の體と** なりしが賊の一人は銃を氏の胸に擬して何處に行くと支那語にて問ひ金氏は之に對し商用にて龍井村に行くと答へたるに其の間に金員を馱せる馬は逸走せんとせしが賊は金氏を捨て、馬諸共に金員を奪取逃亡したり程經て春口氏等到達し龍井村駐在巡査等八方搜索に努めたるも遂に逮捕するに至らざりしなりと

伊太利領事 總督府訪問
歡迎諸施設に關し感謝の意を表し 大飛行に對する陳述

伊太利領事チエサレ、テイリオ氏飛行大尉ダルピアノ、アレサンデロ氏グイト、パウルチ中尉は二十三日總督府に青木委員を訪問し伊國飛行隊歡迎諸施設に關し感謝の意を表し且つ左の通り陳述せり

△タルピアノ大尉は北京より上海に赴き通信連絡を取る筈

△飛行機は速力の關係上出發前後したるも上海北京には全部集合し朝鮮には出發時間を加減し同時に著陸を期す

△新義州には一泊の筈

△到著日は南支那海のモンスーンの關係あるを以て豫知し難し凡て好都合に運びても二月十日前後となるべし上海著の上は確定するを得可し

△釜山下關間には海軍より水雷艇四隻護衛の筈にて上海又は北京より通知ありたる時直ちに釜山にも通知せられたし

「深く遺憾に堪へぬ」と
王世子殿下の御婚儀に對し 國分李王職次官談

王世子殿下の御婚儀に就いては故李太王殿下の御一年祭終了を俟つて**梨本宮家と** 正式に御協議を再開し愈々御華典擧行の日取確定の筈であつた折柄梨本宮家の御緣家に重ね〴〵の御不幸が起り御婚儀を進行する事の出來ぬやうに立ち至つたのは誠に遺憾の極みである。昨春は王家御服喪の爲めに御延期となり今春は宮家御服喪中の故を以て御差支を生じるとは何たる事であらう逝去された池田侯母堂は梨本宮守正王殿下の姉君に當らせられ守正王殿下方子女王殿下には**皇室服喪令** 第三條に依り九十日間の御喪に服さねばならぬ。然るに梨本宮妃殿下の妹君にあたらせらるゝ牧野忠篤子夫人茂子の方の逝去があり廿二日には同家弟君に當る鍋島直大侯令息貞次郎氏の逝去が發表され梨本宮妃殿下並に方子女王殿下には更に九十日間の御服喪を重ねばならぬやうな御不幸續きで四月廿日に至つて初めて御喪が明ける譯である從つて**王世子殿下** の御婚儀御日取の決定發表されるのは夫れ以後の事である。御婚儀の御裝其他の設備一切は總て春の季節を標準として準備せられてあるので御婚儀の延引は種々の點に於て多大の影響を受けるので梨本宮家の御哀愁を御悔み申し上げると同時に吾々としても深く遺憾に堪へない次第である

大東斯文會の會合
德教振興を意味せる 來會者二百其意を得る
金氏兄弟郎座に會の爲三千五百圓を寄附す

物質文明の滔くべき發達した今日は將に精神界の危期である外にも內にも不健全な思想が醱酵しつゝある世は擧げて輕佻浮薄の巷と化しつゝあるのは內鮮共に同樣である內地では盛んに**世弊風打破** に努め既に有意義な會合も屢催されてゐる朝鮮も此の點に深い憂慮を抱く朝野の有識者が尠くない勿論官に於ても各種の施設を計畫されつゝあるが儒生の一團に於ても此德教振興を企圖し大東斯文會の名の下に魚允迪、鄭萬朝、洪肯燮、趙永年、金正基氏等二十七名發起となり新しい一團隊として名乘りを上げ二十五日午後四時より仁寺洞明月館で同會發會式を擧げた此日十三道の**儒生代表者** として各道各十名京城廿名發起人側數十名にして約二百名は明月館の大

溫突に頭髷を並べ幹事側と種々打合せなどがあつた四時半、來賓學務局弓削學務課長、大垣京通社長布施ソール、プレス、高義駿氏維民會幹事、早田本社主筆奧田中村本社理事其他新聞記者連が會場に著席すると開會の辭に次いで鄭萬朝氏の式辭があり趙永年氏の大東斯文會趣意說明が約卅分費し幾分遅れて臨場して柴田學務局長は**フロック姿** で演壇に立ち祝辭をして物質精神兩界に於ける現狀より切に同會の趣旨實行を希望し自分は學務局長の任にある爲め將來も是非儒教の淵源たる文廟の祭儀とか修理とかに就いては費用の許すかぎり盡力したいと云ふ意味を述べ大垣丈夫氏の祝辭期讀[illegible]允迪氏の答辭があり閉會して別室に入つた二百の儒生は[illegible]

にの文廟云々でスッカリ感心したらしく朝鮮料理に舌鼓を打て**和氣藹々裡** に散會した、猶慶州金正基金武鉉兄弟の如きは常に德教衰頽を悲しみつゝあつたので同會の趣旨に多大の贊意を表すると共に即座に金三千五百圓を同會に寄附したのである同會は德教振興の企圖の下に敎育事業を獎勵し所在に學校講堂を設立し講演會を開き**圖書を蒐輯** し雜誌を發行し又は書籍を編纂し地方諸行の範たるものを推奬する等諸種の事業を著々實施せんとする計畫である。

高田聯隊の 安東通過期
二十五、六、卅一日の三日間

西伯利に出征する高田第十三師團の一部隊は來る廿五、廿六、卅一日の三日に亘り各午後六時安東驛着列車にて到發安東驛は例により給與驛たる可しと（安東縣電報）

『吉緒を誤る』勿れと
朴泳孝侯談

侯爵朴泳孝氏の令息朴吉緒氏が過般上海より入鮮せることは二十四日の本紙を以て報道せしが同氏は支那語研究の爲め一昨年より金陵大學に通學中のところ病氣療養の目的を以て今回歸鮮せしものにして上海は歸途通過せしに過ぎず從つて上海の不逞鮮人一派とは何等の交涉なく時局に關しても亦全然關係なきものなれば此際不逞一派と何等かの交涉あるものゝ如く噂さるゝは甚だ迷惑の至りなりと朴泳孝侯は辯明せり

佛潛航艇 行方不明
無線電信機に故障の爲か

佛國潛航艇メーレーデー號はツーロン軍港に向ふ途次九日以來行方不明となれり無線電信機に故障起りたるものならんと察せらる（巴里電報）

岩國染料工場の 藥品爆發
職工十六名の死傷者を生ず

二十五日午前十時半柳井町字岸の下岩本染料工場內の藥品爆發したる大音響と共に爆破し從業中の男女職工十六名の死傷者を生じたる椿事あり急報に接し岩國區裁判所より檢事書記等も出張原因其の他取調べ中（下關電報）

殉職巡査に千圓の弔慰金
間嶋地方は今や出穀季
遂金が多いから私服憲兵の增派を請ふも知れぬと橫山庶務課長は語る

右に付き橫山庶務課長は語る鮮銀にては殉職[illegible]して金千圓を贈り其他負傷者にも相當見舞金を呈せるが龍井村出張所よりは殘額十五萬圓の要求なりしも幸に會寧出張所に現金少かりし爲十五萬圓を遂金したるのみなるはまだしも不幸中の幸ひなり而して鮮銀としては賊の逮捕は當局の活動に待つとして一面龍井村方面の經濟界に影響なきやう目下善後策を廻し既に方針も樹ち居れるが目下同地方は出穀期に迫り同地方に向けての遂金は益々多からんとする際に此の事ありしは誠に困つた事なり事情によりては私服憲兵を遂金の場合護衛に請ふの必要を生ぜん云々

其後の 呂運亨
流轉の身か

昨冬入京して問題の種を蒔いた上海假政府の呂運亨が上海に歸るや驟然獨立運動團を去つて勞働者と伍し牧師としての本分を歩むべく聲明した相であるが上海佛租界に於ける不逞團朝鮮獨立假政府は殆ど沒落し終らんとしてゐるらしい原因は經濟的に逼迫した結果新年早々佛蘭西官憲より解散の命に接し昨今何處を政府と定むる由もなく轉々しつゝあるとか

天然痘頻々

市內南米倉町百十一番地堀武一郎（三九）同旭町一丁目二百番地佐々江義雄（七）は二十五日天然痘にて何れも順化院へ收容さる

國民大會 一味の公判
多人數で公判は續行の筈

騷擾事件の國民大會一味に對しては曩に京城地方法院に於いて夫々寬大なる判決を見たるが有罪を宣告せられたる被告は一齊に控訴を申立てたので過般來京城覆審法院で審理取調中の所廿六日其の**第一回公判** が同院七號法廷で行はれた何しろ被告の數も頗る多く其上且つて法廷に豪語した連中も尠くないので法院の警戒振りは物々しく表門より巡査が並んでゐた午前十時、七號法廷では田中部長、裁判長で百に近い被告の氏名年齢職業一々に呼上て取調られたが被告等は髮も髭も延びてゐて元氣なく首垂れて溫なしく裁判長の訊問に答へてゐた相變らず被告と學校關係の外國婦人二名が傍聽席にあつただけで其他は被告の朋友や親戚で一ぱいであつた人數が多いので公判は續行さるゝであらう。

列車の轉覆
線路障害の爲係員急行

洗浦劍拂浪間にて

二十五日午後一時半頃京元線洗浦劍拂浪間に於て高山發不定期貨物第百十六列車運轉中突然崖崩れ機關車及貨車十輛線路障害の爲め脫線し直ちに龍山工場より多數の職工を急派し復舊に努めて居れるも現場は高築堤の事とて作業困難にして進捗意の如くならず開通は二十七日午後六時頃の豫定なり右に付二十六日南大門元山及び咸興間列車は何れも現場徒步連絡にて連絡し居れり又京管局運輸課よりは推龍山派出員現場視察の爲め二十六日朝急行せり

故密門大僧正は派葬
來る二月十三日總本山で執行

眞言宗高野派管長故密門宥範大僧正は遂に過般大往生を遂げたるが高野派の派葬として盛大なる本葬儀を來二月十三日總本山金剛峰寺にて執行する事に決定し金剛峰寺執行藤村密憧師葬儀委員長となり經費約五萬圓なること猶故師の遺志に依り各方面よりの香資の寄贈は悉べて高野山關係の敎育事業社會事業に投ぜらるゝ筈なりと

延期して 其技術は修熟
本社主催 全鮮スケート大會
更らに委員の快諾 益盛大ならんとする スケート界の潛勢力
期して待て二月八日の日

二週間延期を斷行するの止むを得ざるに至つた本社主催のスケート大會は延期して寧ろ**滿都の人氣** は沸き返る程で一層其技術は修熟を加へ大會當日は朝鮮運動界の立派なレコードを中外に示し得るに違ひない過般安東氷上運動團選手として入城した本山氏等の離れ業を明治町の臨青協會スケート場で見せたので折柄同所でスケート中の諸氏は其巧妙に駭いたそうである其恐るべき猛者は再び二月八日の大會に是非共出場せらるゝと云はれてゐる京龍側も此に刺擊を受けて其の練習は又一層の猛烈を加へた廿五日の日曜日は折も折溫い好晴の日曜であつたので白皚々たる漢江々上はスケーチングしつゝある青少年の勇姿で掩はれたかの觀すらあつた大競技に對する準備は著々進捗し又大會委員は過般發表の通りであるが更に其の後に至りて**委員を快諾** せられた芳名並に本社委員は左の通りである

競技委員
滿鐵京管局運輸課長　安藤又三郎氏
京城西大門小學校長　橫山　彌三氏
京城元町小學校長　山東　吉久氏
總督府醫院醫官醫學博士　森安　連吉氏

審判委員
京城工業專門學校講師　諸岡　源吉氏
京城醫學專門學校學生　福島　昌吉氏

本社運動部の木谷司事、寺田、野崎兩記者も審判委員の驥尾を汚し當日の審判に從ふ筈である江上の壯擧は恐らく空前の壯觀を呈するや疑ない看よ數百の青少年が氷雪を蹴つて大競技を試むる壯觀は**筆紙に絕し** てゐるであらう尙審判委員を快諾された步兵第七十八聯隊長堀田大佐は北國の產にしてスキー式はスケートには非常なる興味を有する由にて當日は奧田旅團長と共に審判の任に當るべし又同隊の上長宮漆戶中佐を始め石川橫澤橫山の各少佐も亦何れも北國の產にしてスキー並にスケートに關しては何れも**經驗を有し** 殊に漆戶中佐の如きは斯道のチヤンピオンと知られつゝあり是等の人々も當日出場の筈

來れ、健兒諸君!!

全鮮スケート競技大會

期日　二月八日
場所　漢江人道橋附近
資格　隨意（一人二種以內）
申込　往復葉書に出場種目を記入し住所氏名年齡職業を明記し一月卅一日迄に本社運動係宛に申込まるべし

競技種類　滑走五周、十周、二十周　スプーン、戰爭、提灯、旗取　變裝、蜜柑拾ひ、背進、二人一組、スリ　カーブ、8字形

主催　京城日報社

遊興稅に對し
各組合の代表者府廳へ出頭

九年度の豫算に於いて京城府の遊興稅の課稅は今尙未定だそうだが右に付き二十六日京城料理屋組合及び遊廓組合の代表者は府廳に出頭し若し遊興稅の課稅さるゝ場合には之に異議を唱ふることなきも豫め府より了解を得置き度旨申出でたり

天然痘頻々
注意が肝要

府內通義洞四十三番地伊藤つゑ（五〇）は廿三日天然痘にて順化院へ▲公平洞五番地宮本大守（二九）同西小門町六十四番地李變龍（五四）は廿四日天然痘▲通義洞七一番地李仁禎（六）は二十五日天然痘にて順化院へ收容さる。市內の天然痘は益々蔓延しつゝあり此際一般家庭に於ても注意すると共に豫防接種すべし

東京大相撲星取表（○勝●負△預や休×分）

東の方

	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一
大錦	分	○	○	○	○	○	○	●	○	○
栃木山	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○
對馬洋	●	○	●	●	●	○	●	○	○	●
常の花	分	△	●	○	や	○	○	○	○	○
源氏山	●	○	●	○	○	○	○	○	●	○
大門岩	●	●	●	●	●	○	○	●	○	●
宮城山	●	●	●	○	●	●	●	○	●	●
九州山	や	や	や	や	や	●	●	●	●	○
大の里	●	○	○	分	○	○	○	●	○	○
宇都宮	○	●	○	●	●	△	○	●	△	●
駒泉	○	●	●	●	●	○	△	●	●	△
福柳	○	○	○	分	○	○	○	○	●	●
[illegible]國	○	○	○	●	●	○	●	○	●	○
[illegible]	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○
綾川	●	○	●	○	分	●	○	○	○	●
釋迦嶽	●	○	●	○	●	○	○	○	○	●
友の浦	○	●	●	●	分	●	●	●	○	●
御西山	●	○	●	分	●	●	●	●	●	●
岩木山	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●
一湊	や	や	や	や	や	や	や	や	や	や
逹の矢	●	●	●	○	●	○	●	●	○	●
八甲山	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

勝星九一　負星一〇一　[illegible]星

西の方

	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一
鳳	●	●	や	や	や	●	●	○	○	○
千葉[illegible]	分	●	○	○	○	○	●	○	○	○
三杉磯	○	△	○	○	●	△	○	●	○	●
紅葉[illegible]	○	●	●	●	●	○	○	○	●	○
清瀬川	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○
大[illegible]	分	○	○	分	○	○	●	○	△	○
白岩	●	●	●	分	●	●	●	●	●	○
阿[illegible]	○	○	○	○	分	○	○	●	●	○
大戸平	●	○	○	○	○	●	○	●	●	●
若[illegible]	●	○	●	○	●	●	○	●	○	●
矢筈山	●	○	●	●	○	●	○	○	●	●
藤の[illegible]	○	●	○	○	○	や	や	や	や	や
琴ヶ[illegible]	●	●	●	●	分	●	●	●	○	●
小[illegible]	○	○	○	●	○	●	△	●	●	○
黒[illegible]	○	●	○	●	●	○	●	●	○	●
小[illegible]	○	○	○	○	○	●	●	○	●	●
阿[illegible]	○	○	や	や	や	や	や	○	●	○
東[illegible]	○	●	●	○	○	○	○	●	○	△
射水川	○	●	○	○	○	●	●	○	○	●
大[illegible]	○	●	○	分	●	●	○	○	○	○
大[illegible]	●	●	●	●	○	○	●	●	●	○
土州山	●	●	●	●	●	○	○	○	●	○

勝星一〇二　負星九二　[illegible]星

强盜

高陽郡恩平面佛光里百二十七番地同郡第一の富豪朴仁汝方に廿四日午後七時頃五名の强盜侵入し內四名は庖丁を他の一名は銃砲を突き付け脅迫して現金百五十圓を强奪逃走したり急報に接し高陽警察署にては直ちに犯人を搜査したれ共未だ縛に就かず目下嚴探中なりと

例の强盜
全南康津郡々

東面牟山里尹觀柱（五九）方に一月十三日午後二時の白晝一名の鮮人來訪し己は假政府委員と公言し金二千圓の出金を强要したるが尹主人は金百圓を提供し辛うじて危難を脫がれたり斯と聞知せる康津警察署は目下極力犯人の行衞嚴探中なり（光州）

轢死

二十四日午後五時頃平壤より鎭南浦行列車が平壤大平間運轉中牛を牽きたる鮮人線路內に立入れるを乘務鐵道士之を認め警笛を鳴らし注意せしも立去らず遂に該機關車に觸れ人牛共に轢死を遂げたりと

行李を盜まる
鎭南浦

三和通西五丁目大宮幾三郎は去る十九日朝郷里山口縣熊毛郡田布施に歸省の途中下關に上陸せしに價格百圓餘りの所持行李二個を何者にか窃取せられたるより直に搜索の手續をなしたる際に擧動不審の一鮮人が同夜釜山行の連絡船に乘り込みたる事判明し直ちに釜山署に打電し取押へ方を出願し釜山署にては二十日朝棧橋に手配り中高麗丸より下船の處を捕へられ直ちに引致し取調べたるに同犯人は蔚山郡西面思賢洞金敬文（二〇）にて[illegible]の途賊を働きたるものと判明せり（釜山）

寒稽古納會

本町警察署にては過般より劍柔道の寒稽古を勵みつゝありしが二十六日午前十時より同署道場に於て納會式を擧げ同時に劍柔道共數十組の試合ある筈

流感豫防注射で死亡す

京都市にて流感豫防注射の爲め廿餘名を中毒せしめ中二名は中毒にて死亡し大問題となり居れり（京都電報）

汽車へ投石

二十日後八時半頃奉天發釜山行急行第六列車の京義線南市驛附近及び東間運轉中列車の右側より投石したるものあり爲に三等車の窓硝子一枚破損せしも乘客には異狀なかりしと多分鮮童の惡戲ならん

合の次ぎ

去年の暮れ京城の花柳界に姿を見せた千代の家の高千代は美貌を以て一時に騷がれてゐる▲その妓は淑やかな上品な所もあるやうに云はれてゐたが二三日前地金を出したと云ふ評判である●[illegible]

[illegible]女優出らしいさこれも女優出の[illegible]れたさか云はれぬさか[illegible]▲その夜の九時頃高千代は可成り醉つてゐた然しある座敷に入ると貞奴と同じ家形の中[illegible]格伊達子を見つけて貞奴の女優時代[illegible]はりをせたかのやうに[illegible]云は[illegible]▲仲居のおかよや若い妓[illegible]も困つたのは素より[illegible]いお客も餘り暴言に腹を据へかね[illegible]出したと云ふ▲勢枝の前身の[illegible]を下げやう又女優と歌劇の[illegible]優と云ふ[illegible]藝妓仲間の問題になつてゐる▲高千代も此頃[illegible]てあれで中々腹は惡いわさはあの會の人々のうわさ

頌

朝鮮ホテルの給仕連中が朝鮮人のお客に對する態度は甚だ不都合だと鮮人名士の憤慨話し▲何が不都合かと云ふに、時々お客の要求に閑に催促すること、計算を遠慮なく言ふこと、態度が[illegible]に肉汁なきをかけること[illegible]なこと・何かに付て冷笑すること▲ザット以上の箇條書きに相當することをしてお客の機嫌を損うさうであるが朝鮮人だから殊更に斯うした態度を取るのか內地人に對してもさうなのか▲ともかくどつちにせよあまり賞めた話ではない。

お客から預つた大金

[illegible]二十四日[illegible]したるも包要破れ[illegible]は不雅を起し現金を取調べたる[illegible]に內一千圓の不足を[illegible]に似切れず自己の所有なる[illegible]を自白したれば十九日身柄を[illegible]事件に送らる

[illegible]の兩名は等しく罪事を働き[illegible]協力し兵器を購入すべき費用と[illegible]して詐欺恐喝を企て去歲八月十[illegible]に名譽毀損强盜恐喝等を働きた[illegible]せられたるが兩名共之に服せず[illegible]訴を申し立てたるより近く京城[illegible]覆審法院の公判に附せらる[illegible]

昨年釜山港貿易(二)

一億五千百八十三萬餘圓

今重要品中前年に比し增減の著しき者の數量及び價額を比較表示せば左の如し

▲輸移出入對照

▲輸移出品

品名	年	數量	價額(圓)
米(石)	八年	一、二五七、七六八	四六、一〇三、七〇八
	七年	九五七、〇四九	二〇、五八四、八六九
小麥	八年	六、〇〇四	一〇六、九九九
	七年	四一、三四一	四〇六、八二三
大豆	八年	六九七、一〇一	二、四九五、九九九
	七年	六〇〇、二〇〇	五、九三二、七三〇
魚類	八年	五二、六四四、二三三	六、一四六、四四四
	七年	四八、五五〇、五〇七	三、二五五、一〇〇
乾具	八年	四六二、三三六	三三二、八二二
	七年	六八五、四九九	三三九、一九一
棉花	八年	三、六八七、一〇〇	二、八六六、八七〇
	七年	五、四四八、四〇〇	三、四九九、八八九
繭	八年	一、〇七三、四九八	三、七七九、八七〇
	七年	一、四四四、三五四	四、九三二、九四四
金	八年	七二、四九一	二六六、三四八
	七年	九五、五二〇	一四二、一〇七
重石鑛	八年	二六六、四四九	三七七、二六六
	七年	一、四四四、三三一	一、六〇七、九四一
黒鉛	八年	三三、一八八	三三三、四九九
	七年	一六九、八二〇	六八五、〇一九
(鐵)地及錠	八年	四四七、五三三	一五四、六〇九
	七年	五三二、九九九	一四六、〇〇五
牛皮	八年	三、〇八八、五八八	三、二五〇、〇四四
	七年	七四四、八〇三	四四八、二三三
煙草葉	八年	一〇一、〇四五	一、三二三、三二三
	七年	一四一、〇八六	八四一、六四三
牛	八年	二八、〇七〇	一、九七〇、三三八
	七年	三二、一二七	一、七五三、二〇四
海藻	八年	四、七四七、〇五一	一、〇六八、七四三
	七年	四、二七九、六二二	[illegible]

更に前掲輸移出各品の增減事由を察するに概要左の如し

▲米(數量二割三分增價額六割六分增)七年晩秋休戰條約の締結を見るや我財界に一時稍沈衰の兆を呈し時恰も騷擾事件の勃發等加はり米價の大暴落を釀したる其餘響は遂に翌年三月頃迄引廻り著しく減少を見たりしも四月以降は他の各港よりの出廻り增加し且つ内地取引の旺盛なるに於ては何れも當内地取引の旺盛を極め小賣の漸次緩和せられたるに依り輸送の順調を得たりしに因る

▲小麥(數量八割六分減價額七割三分減)米價高の影響を受けたると共に農家の賣り惜みの傾向に相變らず内地取引不引合なりしに加へ下半期に於ては西鮮產地の旱害に依り一層移出不況を呈したるに原因す

▲大豆(數量一割六分增價額九割四分增)大豆油及原料大豆の歐米輸出盛況の影響と滿洲出品に對する銀高關係とは常に朝鮮產品に對する買氣を促進せしめしもの、如く一面騷擾事件及び西鮮產地の旱害等障碍事故の續生を見たりと雖も前者は其影響少く後者亦南鮮地方の頗作と代用食料品の輸入に依り之を補ふを得たるに起因す

▲魚類(數量八分五厘增價額一割八分增)不開港に於ける稅關特殊取扱の開設に依移出高の增したるに因るが尤も乾干鰯魚は輸送經路の變更(鎭南浦仁川口)に依り輸移出高激減し又一面支那向き製品は日貨排斥の惡影響を受けたれども他各品は何れも盛況を呈し以て如上の增額を得たり(釜山)

平北の蠶業(二)

上述の計畫に基づき極力獎勵の結果一般蠶家は進んで接木苗の栽植を希望するの傾向を來したるを以て大正六年内地より七十五萬本の共同購入をなしたるも監督又は運搬不注意の爲め種々の危險伴ひ内地桑苗購入の甚だ不利なるを經驗せしにより順次自作自給の必要を認め其の準備として同年度より各郡に補助金を交附し接木傳習會を開催し桑苗育成者を養成すると共に各郡種苗場に各相當の母樹園を仕立て且つ接木苗の育成を開始したるが大正七年郡種苗場經營の結果桑苗育成事業は擧つて之を蠶業組合に繼承せしめ一定計畫の下に毎年各桑苗生二百萬接木五十萬本の育成をなし尚ほ育成の希望者に對し種子の無償配付をなし桑苗育成を獎勵すると共に不足の桑苗は年々共同購入をなさしめ樹明の桑園反別を充實せしめんとしつゝあり

蠶種

朝鮮に於ける古來の蠶種は一化性三眠蠶にして白繭黃繭の三種あり何れも體形不整繭少にして繭層薄く極めて劣等品種なり三眠蠶の系統は不明なるも蓋し支那より傳來したるものゝ如し其の蠶種は農家各戶に於て製造したるものにして而も同功繭は雌雄同繭せるものと迷信し特に同功繭を擬して蠶種製造に使用せり斯くて幾多の歲月を閱し復製又復製を重ねたる結果は遂に甚だしき退化を見るに至れり本道に於ける始政當時の在來種掃立枚數は千三百五十枚を算し殆ど改良種の存在なかりしも爾來是等情況に鑑み大いに積極的方針を以て在來不良蠶種の絕滅を期し代ふるに改良蠶種の無償配附をなす等漸次更新に努むるの傍ら一面蠶繭共同販賣の斡旋をなし事實的に在來種の不利なる事を證明したる結果漸く改良種を歡迎するの機運に向ひ漸次改良蠶種の共同購入を要求するに到りしを以て始めて若干の補助金を投じ共同購入を助成したる結果年一年改良種の有利を自覺し大正五年遂に全く在來種を根絕するに到れり(義州)

全南と地方費

向ほ過少の觀あり

全南に於ける明治四十三年の生[illegible]を呈するに至りたり此の秋に於て松汀里附近の南朝鮮鐵道は近く敷設せられんとし榮山浦[illegible]花を添ふる觀あり本道の發展と此等各種事業の成功も信じて疑はざる處なり而して大正八[illegible]七百萬圓、水產投資高六百萬圓、各種銀行會社投資(總資本金額)四千二百萬圓、[illegible]約四百萬圓、[illegible]

兩三年後に於ける全南

の狀況は大なる變革を見るに至らん而も來年度の地方費支辦[illegible]せざる能はず(木浦)[illegible]等は聚落的の經營に適應せんと欲するのみならず同地の經濟力は近[illegible]級以下の金融機關に資する目的[illegible]の銀行を振興するの價値を有す[illegible]の下に支店を設置し東朝鮮[illegible]一助たらんとを期し[illegible]

釜山懇談會

次回は二月七日

廿四日午後一時より釜山府廳樓上に於て宗教、教育家合同の懇談會を開催せり當日の研究的話題は

一、學生及び市民に對し宗教的信念を普及せしむるの方法如何

二、現代の思想に對し吾人の取つて進むべき道如何

の二問題なるが一項の學生は小學兒童或は學校生徒を意味するに非ず廣き意味に於ける學生を云ふが如く而して學生及び市民に對し宗教的信念を普及すべきの方法等に就き協議せるも完決せず次回は來月七日再會する事に決し午後五時半頃散會せり因に第二項の問題も次回に附議すべしと(釜山)

極寒期に於ける營口の氣溫

昨年十二月上旬の平均溫度は零下二度四中旬十度八下旬九度三にて是を平年に比すれば上旬は二度溫く中旬は三度寒く下旬は平年と異らず風は初旬中旬は平年と格別相違なかりしも下旬に至り一米突強かりしが打ち續く好天氣のため寧ろ溫暖を感じたる日を寒しと稱し居るが此十度以下に下るは一冬を通じて平均四十三日あり其内零下二十度以下に下るは一月十日より二月九日頃の間にて十日以後は追々溫暖に向ふ去る十三日より十六日に至る四日間は可なり寒さを覺えたれども何れも零下二十度に達せざりき寒しと云ふも最早二十日を出でざるべし(營口)

信託交換不調

營口取引所の失敗

營口取引所の創立委員は過般道尹衙門に於て支那側の創立委員と會合せしが支那側委員は『豫て貴國人より共同設立の議申込みありしも吾々は奉天商務會の勸誘により設立する事に取極めたれば共同設立は遺憾ながら謝絕す』と言明せり共同設立は是れにて全く望み絕ねたるものなり(營口)

病院設置運動

總督府に於て大正九年の事業として各道に一ケ所若しくば二ケ所の慈惠病院增設の議あるを聞き表するや忠南江景に於ては昨夏流行性感冒猖獗を極めたる爲め病に鑑み完全なる病院の設置を希望し居りたる折柄なれば是非此際當局の諒解を得て同院設置の指定を受けんとて既に運動に着手し極力其目的の貫徹に努むべしと(大田)

全南小作面積

七千七百余町

全南に於ける小作人組合數は目下四百二十三にして組合員數一萬二十三人一組平均二十四人に當り之が小作總面積六千六百七十八町四反田一千五百八十七町九反なり(光州)

創立總會(安東縣)

株式會社石崎商店の創立總會を二十二日午後一時より公會堂に於て開催せり會社は資本金二百萬圓四分の一の拂込みにして合名會社石崎商店の事業一切を繼承し商事登記終了次第直ちに株式會社名義にて營業を開始すべし重役の氏名左の如し

社長石崎久三郎△專務取締役石崎治吉△常務取締役石崎清四郎△同石崎甚吉△取締役式村茂△監查役杉原佐一郎△藤平恭一△長澤紀代司

注射頭數(光州)

全南に於ける大正八年中の生牛注射頭數は炭疽八千三百三十一頭氣腫疽二百五十五頭を算せり

龍岩浦の強盜

白晝農家を襲ひ 無警察の狀態

龍岩浦方面より歸來したる人の談によれば同方面には數日前より三名乃至四名より成る鮮人強盜團白晝横行して農家を襲ひ持兇器強盜を働き地方人心の恐怖甚だしく全く無警察の狀態にあり其筋の活動を希望し居れりといふ(安東縣)

安東ホテル

廿四日より開業

昨年來安東驛前に於て新築工事中なりし安東ホテルは過日既に落成したるを以て本月十七日關東軍司令官立花將軍の來安を機とし一部の假開業をなしたるが日々多數の來客あり洋室の一部は設備猶完成せざるも旅客の便利を圖る爲め廿四日より日本室全部を開業する事となれり

同ホテルは太陽樓主人船津勝吉氏の個人經營なるも滿鐵、東拓等の多大なる援助あり其建築費及び設備費に約二十萬圓を投じたる宏壯なる建築物丈けありて外形内容殆んど間然する處なかるべし客室の間取りは洋室五個、日本室にて貴賓室一、特等室五、一等室七、二等室五合計二十三室を有し各室共ストーブの暖房裝置は勿論室内電話ありホテルの交換盤を設け市内外の公衆電話と居ながらにして通話する事を得る裝置あり猶一般旅客の外に大小の洋風宴會をなすに足るべき食堂あり大食堂には優に五十名を容るべく食堂は七八人乃至十名を收容する事を得べし其他の設備としては大小の應接室、撞球室、讀書室、遊戲室、展望室あり三階の屋上はベランダー裝置して散步自由なるのみならず夏期は之を利用して屋上庭園を造りビヤホールに充當する設備あり和洋兩風の浴場及び便所等ありて最新式のホテルと云ふ事を得べし(安東縣)

○懸案諸問題(大田) 大田に於ける目下の懸案中にして焦眉の急を要する重要問題は學校組合の意向整理、大田實科高等女學校々舍の新築、大田神社の新築等なるが聽ては大東川の河川改修所謂其流域の變更等も有志間に唱導せられつゝあれば其將來は多忙なりと謂ふべし

○農事講習會延期(大田) 大田郡に於ける大正八年度の計畫事業中なる農事改良講習會及藁細工講習會は夫々開會の筈なりしも流行性感冒と本年は近年稀なる降雪の爲め寒氣嚴しきとにより無期延期となりたり

出征軍隊通過(大田)

西伯利亞派遣軍たる高田第十三師團第五十八聯隊は一月二十四日二十五、[illegible]日の三日間に亘り[illegible]車時間も長時間なるより大田官民有志及び各種團體は停車場に歡送迎し其勞苦を慰ひつゝあり

○群山府尹招宴(群山) 群山府尹西原氏は著任披露の爲め[illegible]

○水產會社新年宴(釜山) 水產會社は廿五日午後六時より待合亭に於て盛大なる新年宴會を[illegible]

伊達騷動

第百廿六席 小金井芦洲講演

平八甲斐に捉る

平『ア、仰しやつた旋して異れ』と落は三點頭き原田甲斐 甲『アヽ御隠居のお使に出たな』平『アヽ的中つた』甲『伊達安藝の處へ手紙か何か持つて往くのだらう然うであらう』平『ヤア、驚いた的中つた、手紙を持つて行くのだ何うして夫が判るのだナ』甲『夫は大變だぞ、伊達安藝は其方が參らば斬つて捨てると云つて憤つて居る危險いぞ懸然だから云つて聞かせる……何か馳走を致してやらうか』平『エ、夫れは大變だ、斬るつて否だ』甲『夫れぢやから何か旨い物を馳走をして好い咄しを聞かしてやる何が好物だ』平『美味い物が』甲『何がよい』平『圓屋でバタ〳〵階下でバタ〳〵圓屋の音がして居るであらう階下行つて見ろ然うせんと早く出來んから』平『アゝ然うか』と三ツ兒同樣な秋保は階下へ降りて行く、跡で甲斐が密と開封をして見ますと細々との手紙 甲『此手紙の樣子では濱田が會はせなかつたのだな、是ならば下屋敷へ行くには及ばぬ是れりや好い物が手に入つた』と笑壺に入つて女中を呼んで附近の紙屋から同じやうな卷き紙を買ひ求めさせ元來僞筆の名人、詐はりの書面を認め上封に元の通りに入れて作り直した處へ 女『御待ち遠さま御誂へ……』甲『サア平八早く食べろ』平『御馳走樣で……』と涎を流しながらムシャ〳〵食ひ始めた

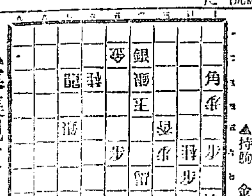
敲いて居る鰻が好いや』甲『鰻が好きかコレ〳〵涎を垂らすなよ』と笑ひ乍ら傍の鰻屋へズツト這入る 男『入らつしやい……』甲『二階は明いて居るか』男『ヘイ明いて居ります何うぞ御通りを……』甲『許せ……サア參れよ』先へ上がると秋保平八雪駄が取れないものですから其儘上がりこんだ、鰻屋の若者は驚いた 男『御客樣お履物をお取遊ばしまして』平『取れない』若者も呆れて『ヘイお上り遊ばしまして……御案内を』女『入らつしやいまし』女中の案内で二階の座敷へ通る、直女中に誂へて後 甲『此處へ御手紙落しはせんか』平『大丈夫持つて居ます』甲『此處へ出せ今直に美味い鰻が澤山參るぞ早く手紙を出せ』平『ヘエ』と懷中をモジ〳〵して取出す 甲斐は手に取つて 甲『コレ平八

甲『何うだ美味か澤山食せよ』平『モー澤山だ』甲『サア手紙を返すぞ早く行けよ』平『夫でも安藝の御爺さん斬ると云ふぢやないか』甲『ウムチウ…斬りは致さぬ先刻は少し他の事で憤つて居た處だつたからだが、モー大丈夫だ早く行けよ』平『そんなら行かう御馳走さま往つて歸れば御褒美に有付けるのだ』と喜び勇んで一足先へ出て行く、跡で悠々と鰻を食つて土産の折を拵へさせて勘定を濟ませ、鰻屋を出て笑ひながら廣尾の兵部少輔邸へ來て右の咄しをした、兵部は手を叩いて 兵『左樣か』『今頃は彼奴驚いて居るであらう』と悅んで居りました、誠に甲斐の爲す事は恐るべき計策でございます、此方は平八郎上屋敷へ到つて通用門から駈つて這入らうとすると 番『アイヤ何處へ御通りになります』平『乃公だ』番『オヤハツハ、と是は〳〵』と咎めた方で笑つて了ふ、通用門を這入つて段々來ると交代長屋二番に伊達安藝宿所と云ふ札が建つて居る、突然玄關の處へ立ち止まり 平『賴む〳〵』取『ドーレ』障子を開いて取次の侍 取『何方から御入來で』平『和郎ぢやない、白髮頭の伊達安藝と云ふお爺いさんだい』取『伊達安藝宿所は此方で御座いますが何方から』平『彼方から來たんだイ乃公は御隠居樣のお使に手紙を持つて來たのだ』

懸賞詰將棋(第七回)

出題者 六段 溝呂木光治

京城黃金町三丁目(電話二〇二八)



▲持駒 金金桂

▲募集規定

賞品 賞金一圓(本社代理部商品切手)

入賞者 但正解者多數の時は抽籤とす 二名

締切 二月十日

注意 京城日報社詰將棋係宛の事

第六回詰將棋解答發表

五四銀打　同玉　四五銀打　三五玉　四四角成　同玉　二五銀成　三六玉　二七角　同玉　三五銀打　二五玉　二六步　同玉　二七飛打　同玉　五四飛成　五五玉　[illegible]

△正解者 [illegible]

△受賞者 抽籤の結果左の如し [illegible]

避寒御案内
溫泉湧出多量 溫度益々高騰
東萊溫泉 蓬萊館主

人參王 津村兄弟商會 京城本町

正月の胃 ▲胃活 定價 壹圓、五拾錢、卅錢 本舖 大阪南久寶寺町二 山田安民藥房

皮膚病 のんき膏 大阪堺筋八幡筋北 山口藥院

いやでも治る 子宮病 中將湯 ひる性こしけ

ばい毒根切藥 大阪堺筋八幡筋北 山口藥院

最新藥速達す 萬病ニ

京城古市町 硝子工場

KAZEPIRIN 風引には 大學病院 操紀乃劑 風邪の妙藥 カゼピリン 星天堂製藥會社

外科 産婦人科 耳鼻咽喉科 井水醫院 仁川本町三丁目 院長 醫學士 井水柳軒

東京屋商店 京城永樂町二丁目 電話一五八四

京城日報代理部

釜山商店案内

日清 あづまや 洋酒・罐詰・糖粉・官煙

島田糸店 電話五七八

糖 粉、乾物 食料品、煙草 罐詰、雜貨 山西合名會社

精米 麥 糠 酒精 燒酎 西貢米碎米 砂糖 小麥粉

洋鐵鋼鐵道船舶材料其他工業諸機械附屬品商 角野商店

石鹸界之覇王 トーマス 釜山草梁

青竹直輸入販賣 豐後石炭一手販賣 海產物肥料商 左官用海草 萬荷受問屋 三二 商店 釜山高島町

整腸消化劑 糖化菌含有乳酸菌製劑 ビオフェルミン 本劑はメチニコフ博士の提唱したる乳酸菌療法に最も適したる完全乳酸菌製劑にしてブルガリアン乳酸菌の外腸内に於て澱粉質の消化を行ひ併せて乳酸菌の作用を強烈ならしむる糖化菌を含有す。即ち本劑は腸内殺菌、防腐、消化、整腸の三作用を有するを以て腸諸疾患、腸消化不良等に對して現今唯一の良劑として賞用せらる。三十五入(金九拾錢)百五十五入(金參圓九十錢)五十錠入(金七拾五錢)百五拾錠入(金貳圓)送料十二錢、外に粉末三百瓦入、四百五拾瓦入あり 本劑に關する醫家一百有餘名の臨床報告集あり、無代郵呈す。全國知名藥店に販賣す。 發賣元 大阪市東區道修町 武田長兵衛商店

偉大なる判斷力と記憶力は健腦丸の常用により生る!! 主効 腦充血・頭重・腦神經衰弱・健忘症・逆上症・耳鳴・神經痛・眩暈・貧血・腦貧血・中風・卒中・便秘 特長 本劑を常用すれば逆上を引下げ便通をよくし恐る可き腦充血を快治し中風卒中を未然に防ぎ記憶力を増進す 改正價 五日分二十錢 十日分六十錢 二週間分九十錢 三週間分一圓 五週分四圓 十週分七圓 全國各藥店に販賣す 大阪本町 東京淺草 丹平商會藥房 健腦丸 KENNOGWAN

學生募集 京畿道廳認可 京城自動車講習所 專科入學資格 滿十五歲以上ノ男女ニシテ小學校及普通學校卒業者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者 ●入學時期 毎月十五日 ●教授科目 自動車學 電氣學 自動車修理方法 自動車操縱法實習 ●修業期間 二ケ月 ●目的 學術品行優秀ナル自動車運轉手技術者及販賣員ノ養成 ●設備 實習用自動車 最新式オーバランド號一臺フォード號三臺其他自動車内部構造作用ヲ一見シテ明瞭ニ會得セシムル本所特有ノ切斷自動車等 ●實習場 京城府光熙門内訓練院廣場 ●學費 入學金授業料實習費教科書代等合計金百三十二圓前納トス 校外生科 校外生科卒業者又ハ本所規定ノ試驗ニ合格セルモノヲ收容シ一ケ月間ニテ自動車操縱法ヲ實習セシム學費ハ金七十圓前納トス 實習科 各科ヲ修了セル者ハ研究科ニ收容シ左記科程ヲ修得セシメ其間ニ運轉手試驗ニ應セシム ●自動車應用運轉手實習 ●自動車機構分解組合法及修繕 京城府黃金町三丁目百二十三番地 電話長局六〇〇番 振替七一八一番

淋疾最新藥 純國產ニシテ品質效力輸入藥ニ勝ル ゴノクロール 一從來内服藥に於て醫界の疑問とせられたる淋菌殺滅力を本品が確實に具有することは楠醫學博士の實驗により保證せらる 一全國百餘名の醫家は本品を實驗して其價値を推奬したる報告を寄せられたり 發賣元 名古屋市東區京町二丁目 小島合名會社 關西代理店 大阪市東區道修町二丁目 藤澤友吉商店 關東代理店 東京市日本橋區本町四丁目 藤澤友吉支店 中央製藥合資會社製造

……の趣旨を申入れしめたり（東京特電）
『この平和條約は益々其の効力を發生したるを以て帝國政府は[illegible]の通り撤兵竝に其の他の善後措置問題に關し支那政[illegible]

支那政[illegible]前に於ても成る可く速に撤退するの意向[illegible]を得ず我軍を殘留せしむと雖も支那政府が速に巡警隊の組織に著手し之を完成[illegible]

なるが我軍撤退後鐵道警備の任に當るもの無き時は交通の安全[illegible]

[illegible]表失敗

去る十三日[illegible]國際勞働會議資本家側代表委員武藤山治氏は夫人同伴二十[illegible]巴里に[illegible]唯其の叫ばんとする所を叫び主張に何等統一無く失敗に歸せり田中孝子女史[illegible]米國の如き組合に在る者は[illegible]紡績の夜業は二年半の後實施す可し云々』（大阪特電）

[illegible]寒氣は[illegible]天氣は[illegible]雪を見るべし猶一般に陰晦續くべき見込なり但し少雪

東拓土木成績

關東土木課長談

東拓支店にて豫て工事を完成したる土木工事の八年度成績を擧ぐれば左の如し

▲羅岩里開墾工事　面積水田百四十五町余、工事費三萬三千六百余圓本年度小作料籾一千九百七十八石余に達し前年に比し一割三分の增收となれり

▲長安坪　面積四百五十町工事費三十四萬余圓八年度は旱水害を受け籾一千二百八十石に達したり

▲泰川水利工事（水稅）　工費四十八萬一千五百圓、八年度の蒙利面積は九百四十三町歩にして本年は西鮮地方一帶稀有の旱害に遭ひ本水利蒙利區域も亦稀れに見る旱害を蒙りしも水の配給等に力を盡し區域外の附近耕地が殆んど收穫皆無又半減の慘狀を呈せしに反し前年の八分作に止まれり水稅として籾二千七百六十五石なり

▲宮三面機力灌漑工事　蒙利面積二百六十町歩、工費三萬八百圓八年度は工事施行前に比すれば增收にして籾千八百二十九石なり

▲洞江面社有地改良工事　面積六十町歩、堤防を築造し水害を防止すると共に新に貯水溝を掘鑿し灌漑の用に供するものにて工費五千圓にして八年八月廿日の竣功にして僅に年度央に工事完成を告げたるまでにして未だ十分なる效果を發揮するに至らざりしも施工前に比し增收となれり

▲宮三面貯水池用水工事　面積約三百町歩にして貯水池の新設にして八年八月末日を以て完了し尚開墾工事施工中なるもの左の如し

▲自防浦干潟地開墾工事　國有地二百六十六町歩にして八年度に於て既に開墾地よりの小作籾百六十石

▲龍岡郡國有未墾地開墾工事　面積百廿四町歩にして目下工事中なり

鮮鐵運輸狀況

一月中旬に於ける朝鮮線運輸狀況を聞くに今期間は寒氣酷烈にして京元咸鏡線の如き積雪の爲め一時列車の運轉を休止せる等貨客輸送に影響したること勘からざるも一方旅客賃金改正は乘車人員に些の異動を來さず而も客車收入は幾分增加の趨勢を示しつゝあるを以て一日一哩收入は運輸の困難季に當り且前記天候の障害ありたるに拘らず五十八圓四十六錢を擧げ前年同期に比し十五圓六十六錢の增收に當れり其統計左の如し

乘車人員三十二萬九千四百三十人（前年同期に比し五萬八百八十八人增）貨物噸數七萬八千八十三噸（前年同期に比し三千四百六十四噸增）客車收入三十五萬一千四百廿圓（前年同期に比し十一萬六千九百八十七圓增）貨車收入三十二萬二千六百九十二圓（前年同期に比し八萬四百十五圓增）

京城東部發展策

京城東部乃ち本町三四丁目は種々の事情上從來著しき發展を見ず今日に至れるが近來獎忠壇訓練院二公園の起工並に住宅難の叫びに伴ない有力者の注意を惹くに至れり現に昨年久留米の有志家國武氏主腦となり既に大正建物會社の創設を見しが現はれ最近更に同方面有志連相談の結果相當發展策を講ずべく十八日第一回有志大會を催したるが何等かの規約を設けその實行に着手すべしと

鮮鐵道輸送量

客年中朝鮮線に於ける米輸送總數量は三十六萬九千九百六十七噸にして前年同期に對比し約一割の增加に當れり蓋し昨八年に於ては西北鮮地方旱害等の爲鮮內に於ける收穫高は著しき減率を示せしに拘らず鐵道輸送に上記の如く增加を示せるは種々の原因存すべしと雖も要するに最近一般に鐵道利用增加の結果なりと謂ふを得べし

鮮米汽車積忌避

全羅北道泰仁又は金堤方面より大阪に送貨する米穀は多く群山港より汽船積出しを行ふも船便の關係上汽車送りをなす事あり右の爲め大田釜山下關等にて積み替へをなす場合種類を異にせる米と混淆する場合少からず結局到着地に於ける受渡しに面倒を生ずる事尠からざるにより之れが責任問題を惹起する事あるにつき大阪方面の荷主は群山出米の汽車積み忌避傾向漸く盛んなりと

財界閑話

京城現物市場も愈々二十六日に許可の指令が下つた▲これで京城の永い間の問題も片がついた譯だ西村局長の談に見ゆる株式の分配方法は大いに朝鮮人を優待してゐる▲釘本君の意見では創立事務を一瀉千里に進め遲くも四月一日頃から開業させたいとある▲朝鮮關係會社の株式で死藏されたものゝ浮かび上がるのは何れにせよ近いであらう▲唯市場として約定期間三日の短期であつてその株式も限定されて居り先づ現在個々にやつてゐるのを纒めると云ふ位に過ぎないが▲然し乍ら此の市場の出現は京城財界を著しく賑して來るであらう

漢銀大邱支店

漢城銀行は豫て大邱に支店設置の必要を認め居りたる處去る二十三日の總會に於て之を可決し近く支店設置の手續に及ぶ可き由なるが右設置の理由として大邱は米穀集散地として又煙草生產地として鮮人側商人にも有力者多き上又同行關係取引先の釜山より同地に仕向くる貨物の決濟に付きては從來鮮銀又は殖銀の手を煩し爲替尻決濟をなし來りたる等の手數もありたるが今後大邱は益々商取引の繁劇ならんとする狀勢に鑑み支店設置を決定せりと云ふ

▲古物商組役員會　京城古物商組合にては二十二日定時總會を開き本年度役員の改選を行なひたるが組長に永井新之助氏副組長に森本吉助氏評議員に野村仁兵衛氏外十二名就任したり

日銀帳尻

二十三日現在左の如し（千圓）

發行高	一、二三六、六八一
正貨準備	九四六、一六〇
限外發行	一七〇、五二一
貸出高	四一一、九六五

●鮮銀券日報　二十三日現在左の如し（圓）

發行高	一五〇、九一五、九四〇
正貨準備	五一、〇八四、〇一一
限外發行	四九、八三一、九二九

商況

株式

東京現株特電

▲騰貴△下落　○廿六日中値

銘柄	拂込	時價
鮮銀	一〇〇・〇〇	一四九、〇〇
同新	一〇〇・〇〇	一四八、五〇
東拓	五〇・〇〇	……
一新	三七・五〇	……
二新	一二・五〇	……
殖銀	五〇・〇〇	▲一二九、五〇
東亞	一二・五〇	……

東京株式（至急電報）

●廿六日第一立會

銘柄	價
東株	四八六、一〇
同新	四八八、〇〇
滿鐵	一八二、六〇
一新	……
二新	一七七、〇〇

大阪株式（至急電報）

銘柄	二十六日前場寄付	二十四日後場大引
大株	四五六、〇〇	……
同新	四五四、〇〇	……
郵船	二四二、四〇	……
同新	一三六、五〇	……
商船	一七四、九〇	……
同新	一七二、八〇	……
鐘紡	四七五、二〇	……
同新	四六五、〇〇	……
東紡	三二一、九〇	……
東糖	二〇四、九〇	……
堂米	二〇八、九〇	……
上取	一二四、四〇	……

京城現株

標準值段　▲印騰貴　△印下落

銘柄	拂込額	價
仁取	二五・〇〇	一九一、〇〇
朝郵	二五・〇〇	四一、〇〇
電興	二五・〇〇	▲一六、七〇
皮革	二〇・〇〇	二五、五〇
東畜	一二・五〇	一五、〇〇
朝紡	一二・五〇	三八、〇〇
朝紙	一二・五〇	四二、〇〇
商銀	五〇・〇〇	五九、〇〇
同新	一二・五〇	二〇、五〇
滿毛	一二・五〇	四八、〇〇
滿糖	一二・五〇	四八、〇〇
朝煙	四〇・〇〇	三八、〇〇
鮮土	一二・五〇	▲一八、五〇
東亞	五〇・〇〇	九七、〇〇
同新	一二・五〇	三九、五〇
森鐵	二五・〇〇	六、〇〇
中鐵	一二・五〇	一三、〇〇
殖鐵	二五・〇〇	一五、五〇
朝日	一二・五〇	▲一四、〇〇
安信	一二・五〇	三六、〇〇
錢證	一二・五〇	△三九、〇〇
京銀	二〇・〇〇	二四、〇〇

京城現株市況

近頃の市況は內地株の騰落不透明の商狀を移して一般氣乘薄の折柄人氣は漸く地株漁りに移れる觀あり電興、朝日、土地の如き端株に向つて物色買ひを試むる者多きが如し即ち電興の十七圓朝日の十四圓五十錢土地の十九圓二十錢は孰れも五十錢乃至二圓方の高移りなり休日前午後より今朝の手合平均値段如左

朝鮮紡織	三八、七〇〇	一九〇
東拓二新	四一、五〇〇	二〇五
殖產銀行	二八、五〇〇	一三〇
仁川取引	一九、〇〇〇	二〇
朝日釀造	一四、三〇〇	七〇
朝鮮銀行	二五、三〇〇	二〇
朝鮮電興	一七、〇〇〇	一〇〇
朝鮮土地	一九、二〇〇	五〇
中華企業	五九、〇〇〇	三〇
羊毛紡織	三五、三〇〇	五〇
東京毛織	一五二、五〇〇	三〇
帝麻新	一三〇、〇〇〇	二〇
滿洲錢證	三八、五〇〇	五〇
朝鮮鐵道	三五、五〇〇	一〇〇

朝鮮土地擡頭

最近內地株の不勢に連れて朝鮮に於いて最も多くの賣買高を示す殖銀、鮮銀、東拓の主力株を初め東亞煙草、朝鮮紡織等も孰保合を脫せず不氣乘りの折柄地株中の割安物を買漁る振合あり中にも朝鮮土地は一時二十三圓の高値として十七圓處に低落し居たるが地株流行の人氣に乘じて近來又復擡頭し來り今朝十九圓二十錢の手合あり一躍二圓方引戻したり

電興買氣旺盛

朝鮮電興は最近諸工事の進捗著しく事業開始も明近に迫りたる折柄燃料問題の喧しき今日其の前途を囑望する者多く近來內地筋の買物も加はりて益々人氣を添へつゝあるが今朝既に十七圓の手合出來後尚ほ氣強く十七圓五十錢買りを唱ふる者さへありたり

電話增設廣告
▲八二五番
右增設仕候
京城黃金町一丁目三
東亞株式店
電二四〇三番
新設八二五番

朝釀更に上伸

朝日釀造は今朝高値十四圓五十錢の商內ありたるが右は處女配當一割五分確實との見越し買ひなるべく假りに一割五分として一圓八十錢の配當あれば十四圓三五十錢は尚ほ拂込程度の相場にして同社の實質より將來の增配を望はんには尚ほ買餘地ありと云ふべし

仁川株界

頃日來より百九十圓臺に擡上げて焦付模樣を呈したる仁取株は中々名義書換への多きに付いて聞く處に依れば殆んど小口物許りにて買手は有力筋の頃向なれば今朝も百九十一圓より二圓見當の硬調を示し居る振合なるが更に賣應する者なき狀態にて今一段の高値は免れざる趨勢を有し居るも其他の株は弗々取引行はれ居るも人氣變りなき姿なり

兜町のヲ記

人の心と云ふものは實に妙なものだチ相場の高い時分には一向氣にもならなかつた現物市場問題もコウ相場が撚てくると馬鹿に氣になつてくるから面白い▲主力株の鐘紡も東株も最も多く喰合つたのが五百圓を越した處だから此相場がモウ二十兩安とくると買方は確かに全滅さ昨日の一番から紡績をみたあり丸でナッテるないねアノ味をみては誰れしもイヤにならざるを得ないワイ▲而しだ僕は此相場のある事を承知で月中から弱かつた丈けに買屋のフルヱル劃には平氣なもんさ自慢ジヤないが相場はコウ見るのがあたりまへだ春高春高で月初めウンと買込んだ揚句月中に行惱んで流行株が逆鞘を打ち始めたらばソコで警戒するのは要するに相場道の定石だ▲流石に連日下げの一方だつた例の新高は角丸の買さやらで四五圓ばかりも返したが愈々の本直りは即ち砂糖株がらくるのだらう▲マダ〳〵株の前途將來は樂觀だよ鐘紡の高直から五六十圓押しはモウ賣りの餘地はなからうソレに武藤專務の增資否認は一時賣りの材料ともなるが考へてみればコレでこそ鐘紡の眞價を認められるんだ一時の景氣に浮かれて無謀の增資をやるやうじやー一事が萬事ドンナ危險が伏在してるか分らない僕は此相場が落附くと同時に鐘紡の眞價を現はすべき大相場が出ると思つて居る（廿三日）

公債株式現物問屋
丸五商會 有田長商店
京城永樂町二丁目
電話長一四九八 電略〇五

現株界總捲り（八）

錢屋株式店

此の店は三四の人の匿名組合にして宇治屋主人島井鉦太郎君會計を司り營業主任に鈴木歲三君あり君は兜町生へ拔きの相場師なるも日露戰爭中御用商人として辣腕を揮ひ巨利を占めて歸京するや再び兜町に入りて乾坤一擲の勝負に五百圓の東株一千株を買建て爆發相場に遭ひて僅々二十日間に三十萬圓を儲つたと云ふ敗軍の將なり爾來蛍かず飛ばず十餘年間隱忍持久したるも往昔の夢忘るゝ能はざる折柄偶々知高井君の外某有力商店の後援を得て吾臟株式店を開く店風飽く迄も前垂式にして商賈錢屋五兵衛を慕ひて家號を錢屋と名づく

米況

東京期米特電

●二十六日前場　當限寄付　四十九圓九十一錢　中限寄付　五十圓十三錢　日後場

●二十六日前場　寄付　五〇、〇一　高値 ……　安値 ……　止め ……

大阪期米特電

●二十六日前場　當限寄付　四十九圓十二錢　中限寄付　四十九圓三十四錢

●二十六日前場　寄付　四九、一六　高値 ……　安値 ……　止メ ……

神戸期米特電

●二十六日前場　寄付　四八、六九　高値 ……　安値 ……　止め ……

下關期米特電

◎二十六日前場（晴）

	當限	中限	先限
寄付	四九、二二	四九、三五	四九、三三
高値	……	……	……
安値	……	……	……
止め	四九、二〇	四九、二二	……

釜山正米特電

內地期米底強きも今朝市場は相場見當付かず遂に持合にて三等神力四十八圓七十八錢穀良四十九圓十錢所を以て六百叺乃り取組みありたり▲大豆は持合の京釜川口物二十八圓三十錢にて四百叺出來（二十六日）

群山正米特電

來月中旬四十八圓八十五錢同末四十九圓二十五錢先中旬四十錢同五十五錢現物四十九圓丁度と低落せり（二十六日）

仁川期米

二十六日前場（煎高）

休日前阪地安に祟られて四十七圓八十錢と瓦落を呈し⑦因の利喰買方の投物殺到して四十六圓中三十八錢と小戻して打止めしが跡大阪後止めの四十八圓九十一錢と三十丁返しを移し寄いては今朝の氣配二三丁高を入れ買方は待に傍觀し立會へば當中出來ざるも先四十八圓十錢と二十二錢高に寄付五錢と上辿りせしが小口の手詰めと新規の買りに〇五錢と下押せしも安値に物縮出して買方の手控に摑みの前錢と蹴上げし折しも⑬の買ひに四十五錢しかは又復入氣は買氣を換起二十八錢と崩れ押目待ちの買ひに三十二錢と小戻して引▲第二節　當中出來ざるが先三十錢より二十九錢と下這りせしが押目は余①の⑦②の手堅に四十錢と跳返し州九錢とく引▲第三節　當中出來不申中四十六圓六十錢と⑦買に始め先三十八錢より⑦⑧力⑦因買に四十三錢と反撥せしも戻りは⑦⑧の⑬の買物に三十二錢と挫折し四錢と氣乘薄に引▲第四節　當出來不申中⑦買に⑦十九錢より四十五錢と不勢三十五錢と手堅く始め中限安に促がされ一錢と弱る三錢と持合に引▲第五節　當出來不申中四十五錢より因買に五十五錢と返し先三十一錢と始め二錢と上辿りせしが月仕舞の投げ物に二十四錢と押し八錢と小戻しに放會せり

仁川米豆取引所仲買人
⑥仲買店
電話（二八）長（二八三）番
電略（シ）又ハ（カクシ）

突込み賣警戒

休日前阪地安に促かされ四十七圓八十錢と瓦落したる場面は今朝大阪前寄四十九圓十六錢と各地正米の手堅き噂さに軟派の突込賣警戒となりし折柄、群山より採算筋の買物弗々現はれ來り人氣强調四十八圓〇五錢を安値に四十五錢と氣勢を改めしも當中の不勢にて買方も高値躊躇となり三十錢臺にて弱み氣迷ひ商內に持合ひしも引際日仕舞の投げ物に二十四錢と押し八錢と頭重く打止めしが買方に有力なる後援の無き丈けに正米の堅き割には反撥力鈍ぶきが果して買方の理想通り正米が附隨するか疑問にて南浦正米は幾分安噂さを傳へらるゝも京釜沿一帶は近來の大雪にて出廻り皆無の狀態を示し手持筋は容易に賣急がさるのみか却つて先高見越しに安値は買氣催ほしある振合ひにて自然割安の定期に買進みを有し此邊正米の下げ止まりと見定め著きたる上は仕手の一變と共に一展開を見るやも知れず

各地跳返す

過般來正米の剩著增加と劃高地の東京市場に賣米集中して定期市場は漸く賣米凭れの懸念を生じ人氣次第に惡化し殊に休日前の如き買方の踏退きと軟派の活動により大阪前場は九圓の關門を割り遂に安値八圓六十錢迄瓦落せしが投げ物漸く一巡し後場は九十錢迄返へし今朝は更に買氣を加へ九圓臺に復活し十六錢と二十六丁高に寄付たり

大正石粉工業株式會社
京城岡崎町九　電話一八四六番
振替口座京城五五七六番

後場又暴落す

前場は阪地の電報延著にて場面氣迷ひなりしも後場は大阪の止め安を移して買方の手揃ひ賣に當限四十六圓中三十錢より二十錢を崩れ先四十八圓十五錢と三十三丁安に寄付山尹の買物八圓臺を割れ八十八錢と雪崩れ此邊正米採算の玄人買物現はれ九錢と返し七錢と大混戰に引▲第二節　大阪後場寄四十八圓五十錢より二十五錢と墜落を移し當中出來ず先十錢より二十五錢と崩れし後は買方の防戰に上歩調なりしも軟派の戻賣に⑦の利喰ひ錢と新安値に賣落しに七十三錢を採合ひに引

大阪後場　軟落

前場寄付九圓臺復活を報せし大阪期米は好箇の戻りと見たる軟派の猛烈に再び氣崩れを喚び前止めの安値を割りて後場四十八圓五十錢と六十六丁の急落を演じたり

取組高　四萬七千石　五千五百石　四萬八千石　八百石

仁川米豆取引所仲買人
㊄仲買店
仁川海岸町三丁目
電話長四〇四番二〇番
電略（ア）又（ヘカチ、ダ）

市場雜觀

內地市場が外米代用制の問題で月高が御極まりであつたが一月限から內地米建に回復した故か限月安となつた其影響に牽制されて當市場も高値より三百丁⑥瓦落を現出して來たが之れ以上未だ賣餘地あるか否かは正米の成行きと農家の態度に歸すらんなんも各地の狀報に依れば內地一般米商が此邊の正米に一崩れを豫期して來ぬて必需の外は更に買進んで來ぬのみか白米注文も此頃は一切不引合ひを示し精米業者は殆んど休業の狀態らしい如何に凶作を材料に先高を見越すとは云へ買口のない正米を思惑的に買進む者なき處に正米は有接近しして大氣なり小農家の賣米現れ來る如き搆へも幾分ある樣で定期の歩調一騎して居はなきも漸落の如きを示して去ればと定期三十丁戾し五十丁安と云ふ商勢でマバラ筋がモチ〳〵で買附く間は期正米の循環安を演ずるのではあるまいか總じて相場界は激落を演ずる返よりデリ〳〵に軟い商勢の結局して自然に崩れる場面こそ歡迎の値市が擡頭じいてこれ見解を行は人氣に乘じて釣上げ買に斯ると居るらしいが相場も斯なるこ正米は全然不賣行きで掛聲いで居る模樣中の利喰ひが爲し難き模去れは肝心の正米が今少しビン付いて來ぬ以上金融嚴戒や値頃觀の恐れより緊玉を頑張り自然正米に遭過しと云ふ落を出現する事に對し遭るすまいか現在の三期に對する相當の手持顔振れを跳むるこ相當の手持筋さら見して買進む米資金困難の上に叩かれるも分らん鮮米ではなきが不引合ひの話らしい

京城正米市場

當正米市場は日曜前日の期米瓦落を受け人氣軟弱に傾きしも積雪と時々の天候不良に妨けられ產地の出穀今尚捗々しからざる爲め荷主の態度之れに麗からず今朝は地擢上米四十八圓四十錢並四十七圓八十錢三等合格四十八圓六十錢と一二十錢の方引弛みを見たる迄にて季節と値頃を云爲するより折柄なるとも拘はらず底意案外强硬にて定期の瓦落に附値し來らざるべく一般先安構ながら前途又不氣味懸念も潜めるが如く要するに昨今の市況は內地不引合ひにもあり旁氣迷ひ見送りの姿なり

仁川正米市場

休日前は期米安に買氣を沮喪せし當地正米は今朝は引續買氣振はざりしも產地新春に入りて屢降雪ありし爲め出廻り殆ど皆無の狀態に買物頗る妙なく三等合格四十八圓五六十錢地擢玄米四十六圓見當の氣配なるが賣買行はれず

粟先物高搆へ

粟は西伯利出兵影響として當分鐵路輸送叶はず既に滿鐵に於ては產地輸出の受附けを拒絕せるを以つて新規輸入に影響する處少なからず從つて二月以降の鮮內在荷は著しく減退すべきやに豫測せられ先物高を構へて弗々利喰賣り惑起らん模樣なるが兹利喰賣り弗々絕へさる爲め之れに壓されて相場は今尚仲カ鈍く殊に期米の不勢揚句にて今朝は却つて見送り氣味を呈し海城二三月積一車二十四圓五十錢公主嶺現物五車二十二圓八十錢昌圖現物五車二十三圓八十錢手合せ行はれたるのみなるが兎に角限月先は輸入の遲延に多少の煎れ高を喚起すべきかと

大豆頭間へ

頃は來漸騰步調を辿りし大豆は値頃稍々行詰まりの觀なきにあらさりしも今朝は尙隨勢的强調を辿り全谷新物三十圓十錢と高値の商內行はれたるが跡何なく氣乘薄く人氣又小弱き合みを呈せり

大阪三品特電

二十六日前場寄附

一月限	六一四、九〇
二月限	六〇五、〇〇
三月限	五九五、五〇
四月限	五八五、〇〇
五月限	五七〇、〇〇
六月限	五九八、〇〇

商業登記公告

土佐紙株式會社取締役國吉虎太郎ハ大正八年弐月拾參日其ノ住所ヲ高知市永國寺町六百參[illegible]ニ移轉セリ

大正製藥株式會社ハ大正八年拾弐月弐拾五日總會ノ決議ニ依リ目的ヲ變更ス。藥品並製藥ノ販賣、賣藥業、藥草ノ栽培及之ノ製造並販賣、醫療機械ノ販賣並ニ製造販賣、部外品化粧品ノ製造並販賣、衛生材料ノ製造販賣並ニ販賣ト變更シ同日公告ノ方法ヲ東京市內ニ於テ發行スル中央新聞紙ニ揭載シテ之ヲ爲スト變更ス八年拾弐月取締役谷孝信ハ大正八年拾弐月五日其ノ住所ヲ東京市牛込區[illegible]番地ニ移轉ス同月弐拾日取締役谷孝信辭任ス監査役津田五一郎辭任ス同日監査役神奈川縣[illegible]七百貳番地鶴見[illegible]監査役ニ當選就任ス

右大正九年壹月八日登記

東洋生命保險株式會社取締役古田辭治郎ハ大正九年壹月六日其ノ住所ヲ東京府豐多摩郡淀橋町字柏木九百拾八番地ニ移轉ス

商號新設　商號[illegible]　營業ノ種類　運送業　營業所　京城府南大門通五丁目[illegible]番地　氏名住所　京城府[illegible]

本店京城府[illegible]支店設置[illegible]

株式會社漢城銀行ハ大正九年壹月拾貳日京城府竹添町二丁目百參拾五番地ニ支店ヲ設置ス

株式會社朝鮮殖產銀行社債登記　社債ノ總額金二百五拾萬圓　各社債ノ金額五拾圓　社債ノ利率年五分五厘　社債償還ノ方法及期限　元金ハ發行ノ月ヨリ九年据置キ後拾年間ニ償還ス　利息ハ年二回參月九月各壹日ニ之ヲ支拂フ但六個月ニ滿タサル端數ノ日割ヲ以テ計算ス　各社債ニ付拂込ミタル金額全額

右大正九年壹月拾參日登記

合名會社鈴木商店ハ大正九年壹月六日京城府本町二丁目九拾番地ノ支店ヲ京城府南大門通貳丁目五番地ニ移轉セリ

京城府西大門通貳丁目百貳拾番地川鷲次郎ハ合資會社睦商會ノ清算人ニ就任セリ

右大正九年壹月拾四日登記

京城地方法院

齒科診療
東京齒科醫學士　飯塚喜四郎
仁川山手町二丁目　電話三五〇番

有價證券現物問屋
㊦古閑商店（豐記）
京城明治町一丁目五七　電話三〇番
（創業大正元年）

神經痛、ロイマチス、運動器疾患、皮膚科、花柳病科
佐藤內科醫院
仁川本町四丁目（淺井病院跡）　電話四弐一番

京日案內
普通 一回前金七十錢　番外 一回前金二十錢（廣告每增）
▲申込後中途掲載中止は料金不返戻　▲六回以上の申込は特に實割引の事

古本熱心高價買入　御報參上　是非御試買を乞ふ
本町二丁目　群書堂　電話三一九五番

助產婦募集
又は助產婦希望者　履歷書持參本人來談あれ
京城北米倉町　京城婦人病院

女事務員二名採用
希望の者は本人來談
京城南大門通二丁目　大阪朝日新聞販賣所

年金恩給
長期低利日歩　祭日ヲ不問即日御用立可致候
▲京城永樂町二　西本願寺表門下角　江州屋本店

高給　外勤社員招聘
希望者は履歷書携帶本人來社あれ
京城鍾路二丁目　東洋生命保險會社京城出張所

內地女工募集　十六以上四十以下
希望者ハ至急來談アリタシ
西大門外阿峴里（麻浦電車線）　大正製藥株式會社朝鮮支店

▲電話讓渡し　▲武器物　▲四番物
光化門通　電六八〇番　坂本へ

●ほねつぎ（うちみくじき）
一切の治療御依賴に應ず
明治町　柔術道場

內外勤募集　社員　內鮮人男女問
希望者は履歷書携帶午前中來談
京城黃金町一ノ八　電話五五七番　帝國生命保險株式會社

毛皮なめし　並に仕立
鳥獸剝製標本調製　鳥毛皮類手羽買入
京城本町二　萬毛皮貿易商　電話長二〇六五番　元商行

記帳係入用
希望者は履歷書携帶本人來談　但確實なる保證人要
京城南大門通三丁目　松原商店

讓店
十七年來の老舖純益一ケ月百五十圓アリ內地引揚げの爲め居拔の儘家屋共に至急讓り渡したし（姓名在社）

店仕舞
付值品ニテモ元價ニテ販賣仕候
龍山元町二丁目　電話四五三番　青山自轉車店

荷馬車三組讓り度シ
馬年齡九歲以下　希望者ハ照會アレ即答ス
忠清南道公州旭町　江崎精肉店

代診看護婦　並に見習生　至急入用
仁川　松本醫院

鋼鐵製　ベント式　東京　大谷金庫
近々著荷　參號型外各號
在庫品　谷田式金庫　A　貳號型　同 實用型　B　號　同　號
▲（型錄進呈）▼
金庫專門業　京城本町三丁目　松若商會　電話一四九三番

天保銅　砲金　型銅　其ノ他鑄造　原料
製造販賣
創業明治廿年
御申越次第相場表御送附申上候
大阪市南區櫻川一丁目
近藤製銅所
電話西長三〇七〇　一九〇一四番

開店披露
謹啓新春之候高堂益々御清穆之段奉賀候陳者弊店今般公債株式現物賣買開業仕リ候ニ就而ハ萬事顧客本位ヲ店則トシ御注文其他ニ對シテハ機敏ニ誠實ヲ勉強トチ旨トシ御取扱可申候間多少ニ不拘御用命被仰付度願上候
京城府明治町二丁目九十二番地
公債株式現物問屋　㊀松本商店
電話四三〇四番　電話三七〇三番　振替口座京城七五六四番

高周波電氣治療
K8式ヂアテルミー
療法種目　透熱＝菫外線＝放電　X光線＝冷灼＝美容
適應症
關節諸病、諸神經痛、諸リウマチス、胃腸諸病、肺炎、肋膜炎、喘息、糖尿病、夜尿症、子宮及附屬器病、痳病、攝護腺病、睾丸炎、男女生殖器不能、痔核、脚氣、發育增進、手足脚血症、便祕、下痢・諸皮膚病、肩凝、齒痛、耳鼻咽喉諸病、男女生殖器病、肛門病、瘤腫等・諸腦病、頭部皮膚病、感冒、肺結核、オゾン發生、空氣殺菌、耳鼻諸病等・人體透視診斷、レントゲン治療等・外科無血手術・美顏法、あざ、ほくろ、いぼ、いれずみ等の除法
時間　每日自午前十時至午後五時
費　普通一療法美容術共金貳圓迄　X光線療法金拾圓
京城日報社代理部

株式會社　朝鮮殖產銀行
資本金壹千萬圓
（年賦又は定期償還方法に依る勸業資金貸出の外一般銀行業務並貯蓄預金業務を取扱申候）
京城府南大門通二丁目
電話長六〇一四番　營業部振替貯金口座特一〇九番　道金庫振替貯金口座四〇一九番
頭取　三島太郎
支店及出張所（京畿道）仁川、水原、開城、（忠淸北道）淸州、忠州、（忠淸南道）公州、鳥致院、大田、論山、江景、（全羅北道）全州、群山、井邑、金堤、南原、裡里、（全羅南道）光州、松汀里、木浦、麗水、筏橋浦、榮山浦、濟州島、（慶尙北道）大邱、尙州、金泉、安東、浦項、（慶尙南道）晉州、河東、統營、馬山、（黃海道）海州、沙里院、兼二浦、（平安南道）平壤、鎭南浦、安州、（平安北道）義州、新義州、宣川、江界、（江原道）春川、鐵原、江陵、（咸鏡南道）元山、咸興、北靑、（咸鏡北道）淸津、鏡城、城津、右の外內地朝鮮各地に取引先有之候

最新刊
性に眼覺める頃　室生犀星
普選擧論　吉野作造
少女まりい　ジオン・ザンド
縱橫の暗算と新しい速算法
人間苦　吉田絃二郎
資本論
反射する心　中戸川吉二
安くて美味い御馳走のこしらへ方
女學校物語
纖維と漂白
京城本町一町　大阪屋號

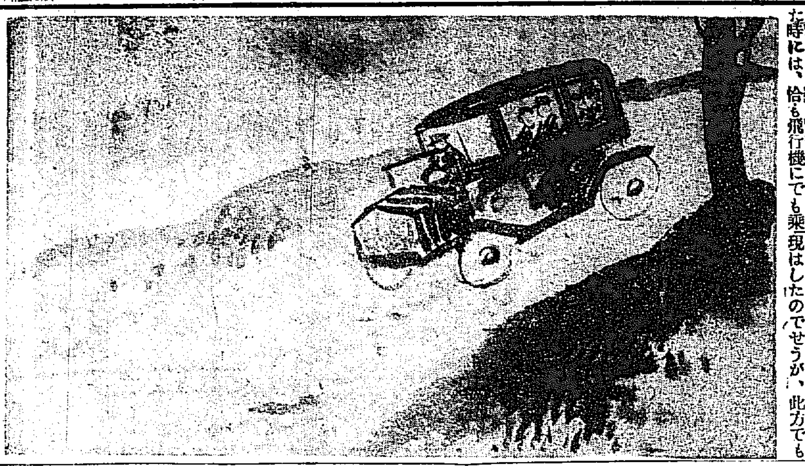
にせ物あり
有田ドラッグ
京城黃金町三丁目（電車通）（長電話二八〇三番）
京城南大門外停車場通　有田ドラッグ商會鮮部
りん病　はい毒
龍山練兵場前
釜山大廳町二丁目
元山本町三丁目
平壤道廳正門斜向
仁川宮町二丁目
大邱弓町停車場前
鎭南浦警察署前
開城南本町二八九
晋州大安洞藥町
大連岩代町

夜の蜘蛛

江見水蔭

挿畫 近藤紫雲

「八十三」



自動車は忽ち上池上村を過ぎて、根方村へこ走り掛つた。高臺を一直線の道路で、左右は麥畑や植木溜。其間に人家もチラホラ有るが、人通りは殆ご無い。それ故規則外の速力を出して無法に走る事が出來るので、乗つてゐる三人は全く氣が氣で無かつた。

殊に根方から馬込に渡る窪地への急坂を、全速力で走り下りた更に向ふの窪地への急坂を其勢ひで駈登るこいふ離れ業を試みた時には、恰も飛行機にでも乗つて空中を滑走する様で、體は宙に浮くに異ならず。聞子の恐怖は云ふまでも無い。淀子までが思はず頼之に取縋つた。

頼之さへも此時は顏色を變へずにはゐられなかつた。

其時運轉手臺から彈次は振向いて、大眼鏡越しに水上伯の顏を見て、氣味の惡い冷笑をさへ漏らした。

惡い奴では有るが、併し自動車を運轉さしては實に巧い者である。

坂を登り切るこ、例の街道へ出るので、右すれば品川方面。左すれば洗足へ出るのである。

『おい、矢つ張左の方へ取つて呉れ』こ頼之は命令した。

『はい』こ彈次は素直に答へた。

それを一走りするこ、例の田邸谷明大醜態の遺跡である。相變らず此邊は人通りが無い。

ピッタ!!自動車は留まつた。パンクした譯でもなかつた。

『此邊で留めてゐのでせう。云はれない間に氣を利かして留めたんでね』こ云ひつゝ、彈次は運轉手臺から後向きに成つて、硝子越しに覗き込んだ。

『ぢやア此方でダムダム彈次だこ看破してゐるのを、其方でも亦覺つたのだな』こ頼之も云つた。

『血の循環がそんなに惡くないからね。いづれ其方でも早く見現はしたのでせうが、此方でも早く又見現はされた事を感附いたので……併し、談判地を此處に選んだのは、芝居氣が有つて好いですね』こ云ひつゝ、彈次は眼鏡を取り、又繃帶を解きに掛つた。

『出迎へに來てゐた時に、直ぐこ看破出來たのだが、あの場所でゴタ〱するのは地の理を得てゐないから、それで此處まで運ばしたのだ』

『實は、お前さん達のお歸りはいづれ自動車だらうこ見込を附けて、大森方面から來るのを市之倉で待ち構へてゐるこ、果して一臺空自動車が來たんでね。見るこ運轉手は知つた顏で、恩も著せてある野郎なんだから、泥を吐かして見るこ、曙樓の注文で、上池上の裏手へ廻つて待つんだつてゐから、適切りそれこ大呑み込み。大急ぎで化たもんだから、矢張尻尾を見られて了つた。や、一網で三匹の魚が取れては大漁過ぎるが、先づ誰から話し合つたもんだらうか……小糸さん、先きは隨分酷い目に遭はしたね』

『あら、妾が投げたのぢやア無い事よ』こ淀子は云つて苦笑した。

『未だごうも腰ッ骨が痛くッて仕様が無い。あんな強い奴に出られては、色男は往生さ』こ彈次自らも苦笑を漏らさずにはゐられなかつた。

扨之れから如何いふ風に彈次對三人の戰鬪は開かれるか。

日報詩壇

生の苦鬪

繁田汀果（大邱）

來れ！
あらゆる殘虐なもて
すべてのもの
吾こ闘はんがため——
彼の横暴な殘虐の惡魔
且つまたそれが憐みの眼——
獨身者の
破れ靴下を繕ふ
生の苦鬪の力をもて——鬪へ！
勝たざるべからず
吾苦鬪の士よ——貧乏の士よ
勝たざるべからず
横暴な殘虐に

慷慨感

柳田馳野子（京城）

毅然こして聳ゆる斷崖の巖峰
汝が美事なる自然の象兆
天空を衝いて峻嶮極みなきぞよ
夢幻の境裡にしばしうつろへ
曠野に孤立せる枯樹の面影
汝が寞々たる境涯に餘情あり
自由の翼廣げて
天空を翔る鳥類の群よ
汝よ眼を盡して歌へ舞へ狂へ
渺々たる大洋の眞只中
木の葉の如き小舟に打ち乗り
波濤蹴破る大和島根男子の意氣を見よ
猶へ、猶へ、男の子。
汝が双肩に擔へるは何？
生涯を何處に果し埋んごする
悲憤慷慨はこゝ男の子の本性
既に人生の域を超越せば身茲に終る
されご知れよ朽ちて後甦るゝを

生か死か

眞野墳勇（京城）

鏡に向ひて醜を飾らんこす
いやしき心現に寫さんこ
晴たる朝の蒼空を仰げ
○
ボーナスを屠りし男
昇給の日より
口重くなりて遲刻す
○
むらむらこ起る反抗の心
抑へて筆とれば
暖爐赤々こ燃盛る
○
年故に寒さ堪へ難しこ云ふ
痩せたる日の光り
南京樂を射るかこ心に笑ふ
○
四時が鳴れば質の吸殻を
暖爐に投げつけて
吏等去りし室の淋しさ
○
夕日の心抱きて相向ふ
男の眼鏡灯に光る
夜業の室に蕎麥を食ひぬ
○
險しき顔が命じける男
若き妻こ機嫌よく
歩めるに出逢ひし夜の街
○
期待する時を追ひゆく
毎夕の空を眺めて
決せんこす心靜まらず

新刊紹介

▼文化（創刊號）現代生活問題社會問題の喧しき折柄正しき輿論をつくらんが爲主として哲學的思想並に實際生活の諸問題こ此等諸種の問題この折衝を取扱ひて立ち此等諸種の問題をすべて文化問題こして考察し文化學的に解決せんこ努めるものなり紙質優美にして五十四頁の落著きたる雜誌なり（二十五錢東京市小石川區久堅町百八佐藤出版部）

▲爲替貯金局統計年報（大正七年度月抄）巻頭に制度の概要及び事業沿革略誌を載せ爲替、貯金、證券、振替貯金、年給恩給簡易生命保險、現金受拂等の狀況示すを主眼こして編纂したるものにして圖表なも添付しあり（非賣品爲替貯金局）

▲我等（新年號）最も現代に觸れた雜誌にして思想、勞働、教育の諸問題を載せ特に『新學說こ新思潮』の紹介に諸名士の卓說を揭ぐ創作五題、外に本雜誌の特色『傾向及批判』等ありて讀む物頗る多し（特價十十錢、東京市神田區鎌倉町三其社）

讀者の領分

▲近來如何に勞働者の鼻息荒しこは言へ人力車夫の横暴殊に鮮人車夫の强請的態度に至りては言語に絶するものがある朝鮮銀行前より南大門驛に至る乗車賃こして暴な强要し餘り無法ならずやこ問へば乘人立錐の場、態わざ〱大聲以て惡罵を連發し聞くに堪へず全然ゴロ式强請なり假令内地張場こ雖も一寸其處迄行かんか一圓二圓こて須ら市手の附近に於ては純良のある料亭等の用は達するも個人家庭より電話せんか幾人の車夫は遊び居る共更らに應する事なく其の不便や極まりなし同業組合取締等は唯自己の利益保護上にのみ存立する者にして社會的に充分彼等を取締るべき機關に非ざるか當局に於ても内地同様行く車臺に賃金表を必ず附せしむる等の方法を以て充分なる取締を講ぜられたし（市民の聲）

▲八日に出した市内郵便がまだ先方へこゞいて居ないですが一體如何した譯なのでせう年賀郵便で忙がしいからこ言つてまさか普通郵便を取扱はないこ言ふ譯でもないでせう斯ふいふ事が一度や二度ではないのです敢へて當事者の御一考を煩はす（迷惑生）

▲十五日午後一時半大和町遞信局官舍下通路にて六十錢紙幣落せし方は大和町交番に御たづねあれ（三丁目の者より）

▲市内の石炭屋の運搬夫（鮮人）が何時も得意先で酒代を强請る蒼蠅くて仕方がない店主諸君の注意を乞ふ（一市民）

▲軍隊拂下大安賣

茶褐色の毛布、冬物小倉服、シャツ、下着、アイボーシャツ、袴下、特別大安賣仕候間多少に不拘御用命願上候

龍山元町一丁目 川本衣服店 電話八九九番・振替口座一五六九

大日本優等清酒 ハクツル

品質純良 衛生無害

製造元 攝津御影町 加納合名會社

發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替京城四二九番

積立金操越金 百貳拾五萬圓
資本金 六百萬圓

株式會社 十八銀行京城支店 京城府黄金町二丁目 電話四二〇番・五八〇番 振替貯金口座京城八一四番

同 新龍山支店 京城府漢江通り拾參番地 電話五五〇番 振替口座京城一八貳三番

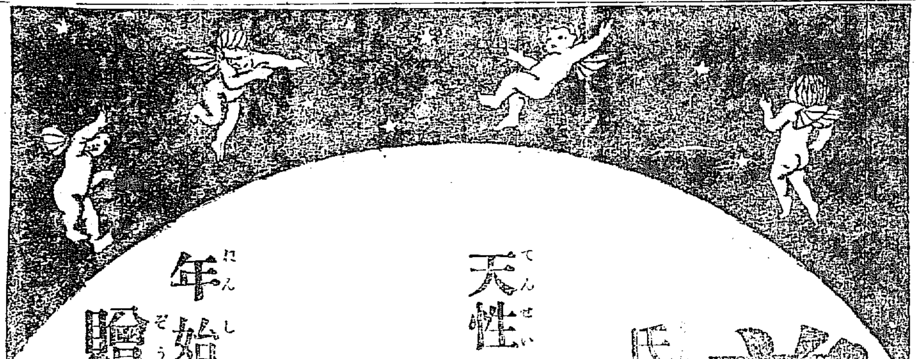
同 龍山出張所 京城府元町一丁目 電話二八番

銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申候
又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

痔疾專門 京城久枝肛門病院

京城明治町二丁目（本町より入る中央） 電話二一〇二番

院長内地出張中の處十九日歸院



美人萬能

氏無うて玉の輿 美人でさへあれば一身の榮達思ふがまゝです。青春の男子よりは言ふまでもなく如何なる人からも愛せられて一生幸福に終ることが出來ますから僅の時間で美しい化粧の出來る本品を是非御常用遊ばせ

天性の白さを現はし美人となる

理想的 薄化粧料

ホーカーパット

年始の贈答品として優れて居る點の三つ

「上品で體裁のよいこと——が先方へ非常に快よい感じを與へ贈り物としての第一條件を完全に備へて居ます

何誰にも喜ばれること——が又贈り物の大切な條件ですが本品は男女老幼何誰にも必要な化粧料です

携帯や發送に便利なこと——ホーカーパットを箱入にしたものは携帯にも便利で發送にも面倒がありません」

全國到る處の化粧品店・雜貨店、小間物店、藥店等にあり、若し品切の節は振替又は切手代用直接本舗へ御注文あれ

定價 一瓶三十錢、送料内地六錢、滿鮮四十錢

ホーカーパット
ホーカー液
ホーカー白粉
ホーカー美髮液

東京神田和泉橋際柳原河岸 本舗 堀越嘉太郎商店

電話神田一二三四・一四四・一四五・振替口座東京一五六

白梅のやう美くしい素顔は

フードの一滴て！

ホンノリ色白くなる

レートフード

▽荒れを止め

素顔を眞から生々こ美くしくする上に自然にホンノリ色白くなるのがフードの他にない優れた特長でございます。

本舗 東京 大阪 平尾贊平商店